

**平成 26 年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第 1 回スポーツ部会議事録**

1 日時：平成 26 年 7 月 1 日（火） 9：30～16：00

2 場所：千葉市中央コミュニティセンター 5 階 講習室 1

3 出席者：

（1）委員

横山 清亮委員（部会長）、木頭 信男委員（副部会長）、内山 英昭委員、
谷藤 千香委員、渡辺 志げ子委員

（2）事務局

丸島生活文化スポーツ部長

吉原市民総務課長、佐久間市民総務課長補佐、宮本総務係長、石橋主任主事、
石垣主事

安藤スポーツ振興課長、菅野施設係長、川端主任主事、常泉主任主事、持本主任主事、
草場主任主事

竹本公園管理課長、長瀬主任主事

田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長、福澤主任主事

4 議題：

（1）平成 25 年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場について

イ 千葉市宮崎スポーツ広場について

ウ 千葉ポートアリーナについて

エ 千葉市こてはし温水プールについて

オ 千葉アイススケート場について

カ 千葉市民ゴルフ場について

キ 千葉市スポーツ施設等について

（ア）千葉市スポーツ施設について（高洲市民プール 他 7 施設）

（イ）千葉市都市公園施設について（千葉公園野球場 他 25 施設）

（ウ）千葉市花見川区花島コミュニティセンターについて

（2）その他

5 議事概要：

（1）平成 25 年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市大宮スポーツ広場について

平成 25 年度に千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市宮崎スポーツ広場について

平成25年度に千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

ウ 千葉ポートアリーナについて

平成25年度に千葉ポートアリーナの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

エ 千葉市こてはし温水プールについて

平成25年度に千葉市こてはし温水プールの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

オ 千葉アイススケート場について

平成25年度に千葉アイススケート場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

カ 千葉市民ゴルフ場について

平成25年度に千葉市民ゴルフ場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

キ 千葉市スポーツ施設等について

(ア) 千葉市スポーツ施設について（高洲市民プール 他7施設）

平成25年度に千葉市スポーツ施設の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(イ) 千葉市都市公園施設について（千葉公園野球場 他25施設）

平成25年度に千葉市都市公園施設の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(ウ) 千葉市花見川区花島コミュニティセンターについて

平成25年度に千葉市花見川区花島コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(2) その他

議事録の公開について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○佐久間市民総務課長補佐 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、定刻となりましたので、平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員

会第1回スポーツ部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、市民総務課課長補佐の佐久間でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づきまして公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。傍聴人の方におかれましては、傍聴人要領に記載されている事項を順守されるよう、お願いいたします。

本日は、地球温暖化防止の一環として、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

それでは、委員の方のご紹介ですが、お手元の資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」の、5名の委員の皆様でございます。昨年度から変更はございませんので、恐縮でございますが、委員のご紹介は省略させていただきます。

なお、委員さんにおかれましては、都合により午後からご出席の予定でございます。また、委員におかれましては、ただいま会場のほうに向かわれているようなので、会議を始めさせていただきたいと思っております。ご承知おきください。

続きまして、事務局職員の紹介でございます。人事異動がございましたので、改めて紹介をさせていただきます。

生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

市民総務課長の吉原でございます。

スポーツ振興課長の安藤でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、本日の会議の所管部長である、生活文化スポーツ部長の丸島から、ご挨拶申し上げます。

○丸島生活文化スポーツ部長　皆さん、おはようございます。生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

7月1日付で人事異動になりまして、よろしくお願いいたします。

本日は、市民局の指定管理者選定評価委員会、第1回スポーツ部会でございます。ご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、委員の皆様方には、日頃より市政各般にわたりまして、さまざまなご支援・ご協力をいただきまして、改めて深く御礼を申し上げます。

なお、本日はスポーツ施設でございます。私どものスポーツ施設の、昨年度の管理に関する評価をいただくということで、皆様方の忌憚のないご意見をいただきたいと思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

○佐久間市民総務課長補佐　それでは議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机上にございます、ファイルとは別に、A4の紙で「諮問書の写し」と「席次表」がございます。次に青いファイル、こちらをお開きいただきますと、まず「次第」がございます。

続きまして、ラベルがございます、資料1は、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回スポーツ部会進行表」、資料2が、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会　スポ

ーツ部会委員名簿」、資料3が、「スポーツ部会で審議する公の施設一覧」、資料4―1から4―4は、千葉市大宮スポーツ広場に関する資料でございます、4―1が「指定管理者評価シート」、4―2が「事業計画書」、4―3が「事業報告書」、4―4が「計算書類等」でございます。なお、資料の枝番号の1から4につきましては、資料5から資料12までも同様になっております。

資料の確認に戻させていただきます。

資料5は、「千葉市宮崎スポーツ広場」、資料6は、「千葉ポートアリーナ」、資料7は、「千葉市こてはし温水プール」、資料8は、「千葉アイススケート場」、資料9は「千葉市民ゴルフ場」、資料10は、「千葉市スポーツ施設」、資料11は、「千葉市都市公園施設」、資料12は、「千葉市花見川区花島コミュニティセンター」に関する資料でございます。このうち資料10の「スポーツ施設」、資料11の「都市公園施設」、資料12の「花島コミュニティセンター」につきましては、同一の指定管理者が管理しておりますが、施設の特性及び管理業務が異なることから、三つに分けて評価をお願いするものでございます。なお、事業計画書、事業報告書、計算書類等は重複いたしますので、枝番号の2から4は、資料10の「スポーツ施設」のみ添付しております。

資料の確認を続けさせていただきます。

参考資料1が「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料2が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（平成22年7月16日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」、参考資料3が「部会の設置について（平成24年7月24日千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」でございます。

以上の資料をお手元にお配りさせていただいております。不足等ございましたらお知らせくださいませ。よろしいでしょうか。

（なし）

○佐久間市民総務課長補佐 それでは続きまして、会議の成立について、ご報告をさせていただきます。

本日は、委員5名のうち、現在3名ご出席いただいております。半数以上のご出席がございましたので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それではこれより、議事に入らせていただきます。

これからの議事につきましては、進行を部長さんをお願いしたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○部長 よろしく申し上げます。おはようございます。

それでは、次第に従いまして、議事進行してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

では、議題1の「平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」に入りたいと思います。

初めに、千葉市大宮スポーツ広場の年度評価を行います。施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 スポーツ振興課長の安藤と申します。よろしくお願いいたします。

座って説明させていただきます。

それでは、資料４－１をご覧ください。千葉市大宮スポーツ広場についてご説明をいたします。

まず「１ 基本情報」ですが、指定管理者は、千葉市大宮スポーツ広場管理運営委員会でございます。指定期間は、平成２３年４月１日から平成２８年３月３１日までの５年間でございます。

「２ 管理運営の実績」についてですが、「（１）主な実施事業」につきましては、ご覧のとおりとなっております。

「（２）利用状況」ですが、「①利用者数」、平成２５年度は１８，３９６人で、前年度比９１．２％となっており、稼働率が６４．３％で、前年度比１．２％減少となっております。

「（３）収支状況」ですが、収入実績が２１８万９，０００円に對しまして、支出実績は２２０万７，０００円となっており、収支実績につきましては、１万８，０００円の赤字となっております。主な原因といたしましては、印刷製本費及び管理棟屋根の塗装修繕など、当初計画していなかった支出が続いたものでございます。

「（４）指定管理者が行った処分の件数」については、ご覧のとおりでございます。

次のページにいきます。「（５）市への不服申立て」、「（６）情報公開の状況」に関しては、ご覧のとおりでございます。

「３ 利用者ニーズ・満足度等の把握」、「（１）指定管理者が行ったアンケート調査の結果」ですが、「① アンケート調査の実施内容」は、平成２５年７月１日から３１日までの１か月間、施設の窓口でアンケート用紙を配布いたしまして、１４６人から回答をいただいております。質問項目としては、利用者の居住等、利用頻度、スタッフの対応、施設の満足度等となっております。

「② 調査の結果」についてですが、居住については、若葉区が９２．５％と地元の方に多く利用されております。利用頻度につきましては、４月から７月までの間に１１回以上利用されている方が７３．３％あります。スタッフの対応については、「とても良い」が６１．６％、「まあ良い」が３６．３％で、全体の９７．９％を占めており、多くの利用者に満足いただいております。施設の満足度については、全ての方が今後も利用したいという結果となっております。

「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」につきましては、「野球場にスプリンクラーが欲しい」、「庭球場のコートを更新して欲しい」というような要望がございました。これにつきましては、全体の優先順位をつけた上で整備計画を策定していくこととしております。

次に「（２）市に寄せられた意見、苦情」ですが、文書によるものはございません。

「４ 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの評価も「良好」となっております。次に「５ 市による評価」ですが、評価はＡといたしました。理由としては、利用者が減少しているものの、その原因が、台風や積雪など、天候によるものということや、テニス用の設備の更新を行うなど、利用環境の改善に努め、概ね事業計画どおり管理運営が行われたことを挙げております。

３ページでございます。「履行状況の確認」につきましては、概ね管理運営が事業計画書

どおりに実施されているため、評価項目すべてを2としております。したがって、項目の評価の平均は2.0点となっております。

大宮スポーツ広場の説明は以上でございます。

○部会長 ありがとうございました。

先ほど委員にお越しいただきましたので、出席者4名ということになりました。

ただいま、所管課からご説明ありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスク等を把握することとなっています。

これから、計算書類等を基に、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料には、一般には公開されていない法人等の情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善等に関する意見交換につきましては、再び公開となります。

傍聴者の方は、いらっしゃらないですか。

○佐久間市民総務課長補佐 お一人。

○部会長 恐れ入りますが、一度退室をお願いします。

（傍聴人 退室）

○部会長 それでは、委員より、指定管理者の財務状況に関して、計算書類等をもとにご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○部会長 はい。

ただいま委員の皆様から、さまざまなご意見いただきましたが、財務状況についてのご意見としましては、計算書類等の資料に基づいた判断であるということを前提にしますが、財務状況は概ね良好であり、倒産、撤退等のリスクはないという、そういうことでよろしいでしょうか。

（異議なし）

○部会長 はい。ありがとうございます。

それでは、次に指定管理者、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については公開といたします。

傍聴人の方を、中にご案内してください。

（傍聴人 入室）

○部会長 では次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートを基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何か、ご意見はございませんでしょうか。

○委員 ちょっと質問なんですけど、利用者ニーズ・満足度等の把握というところの、アンケートにより得られた主な意見というところの、テニスコート、「庭球場のコートを更新して欲しい」ということで整備計画策定。更新というのがちょっと用語的によくわからないんですけど、リニューアルするっていうことの方で検討しますということなんですか。

○スポーツ振興課 コートが一部擦り減ってしまっているの、その修繕をして欲しいというような。

○委員 修繕なんですか。

○部会長 そこは修繕の要望だということですね。

○スポーツ振興課 そうです。

○委員 コートが擦り減ったので、そこを修繕するということですね。じゃあそんなに費用はかからない。

○部会長 何かご意見、ご質問ございますでしょうか。ちょっと私の方から一点質問なんですけれども、利用料金ですけれども、利用者数が前年比で91.2%、約1割落ち込んでいますということなんでけど、何か原因として考えられることはありますでしょうか。何が原因と分析されているのか。その点についてはいかがでしょうか。

はい、お願いします。

○スポーツ振興課 これといって確たる原因というのは見あたらないのですが、昨年、10月に台風が多く来ておりまして、長い期間雨が降っていたというようなことですか、2月に大雪がありまして、天候上の影響と思われます。全体で1,768人の減少です、それだけで説明のつく数字なのかどうかは分かりませんが、その他の減少理由ということは把握していない状況です。

○部会長 私の意見ですけれども、ちょっと天候、降雨の原因としては、落ち込みの幅が大きいのかなという印象があります。利用者増のため試行錯誤に努められたいということをお願いしたいと思います。

○部会長 何か他に、ご意見等がありますでしょうか。

はい、お願いします。

○委員 利用者人数で、アンケートのところなんですけど、印象として、7月でテニス日和という感じで、状況も比較的いい時に聞いたなという気がするの、冬場とかちょっと時期が悪い時にも、利用者の意見を聞いてもらって、改善すべきところはすべきではないかなと思いました。

○部会長 アンケートの複数回実施、実施して欲しいというか。

○委員 そうですね、別の時期に。

○部会長 それによって、ニーズの把握に努めていただきたいということですね。

○委員 はい。

○委員 まあ、質問ですけれども。テニスコートと野球場と、利用者数はどちらがどの位。

○部会長 4-3の2枚目というか。2ページ目でしょうかね。

○委員 分かりました。

○部会長 これに関連してちょっと質問なんですけれども、市のほうに質問しますけれども。多目的広場の利用、人数ゼロというのがずっと続いていますけれども、これはどういう施設で、どうして誰も使わないのか。あるいはこのまま、ずっとゼロのままで良い訳はないので、どういう問題意識があるか、あるいは改善についての何かがあるのか。

○委員 12月に、利用者がいますね。

○部会長 そうですね。それ以外はあまりないと思いますけれどもね。ちょっとその辺

について、ご意見を伺いたいと思います。

○スポーツ振興課 多目的広場につきましては、このスペースはバレーボール一面程度の広さがありますが、十分に整備されていないこともあり、こちらに関しては場所を何か利用できないかと考えています。このスペースにつきましては、今後、指定管理者と協議して、使い方を検討したいと考えています。

○部会長 今後の課題として、検討されるということですかね。はい、ありがとうございます。他に、ご質問ございますでしょうか。

(なし)

○部会長 では、委員の皆様から様々なご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見としましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、1、利用者増加のための方策を図りたい。2、利用者アンケート等により、ニーズを施設運営に反映するよう務められたいなどの意見がございました。

これらを、本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 では、先ほどの財務状況も含めて、千葉市大宮スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設等の管理運営に十分に反映していただきたいと思います。

それでは次に、千葉市宮崎スポーツ広場について、ご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 続きまして、宮崎スポーツ広場についてご説明をいたします。

資料5-1でございます。平成25年度指定管理者評価シートをご用意いたします。

まず「1 基本情報」ですが、千葉市宮崎スポーツ広場は、管理運営委員会が指定管理者として管理運営を行っております。指定期間は、平成23年4月1日から、平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」は、ご覧のとおりとなっております。

「(2) 利用状況」につきましては、「①利用者数」、平成25年度8,481人、対前年度比94.0%となっております。「②稼働率」ですが、平成25年度は59.1%で、前年度比4%の減少となっております。

「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」は218万9,000円に対しまして、支出実績が228万6,000円となっており、収支実績は9万7,000円の赤字となっております。主な原因ですが、会議費及び印刷製本費の増加や、当初計画のなかったテニスコートのネット交換を行ったことが原因でございます。

次に「(4) 指定管理者が行った処分の件数」については、ご覧のとおりとなっております。

次のページをご覧ください。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につつま

しては、ご覧のとおりでございます。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」の「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」の「① アンケート調査の実施内容」ですが、まず平成25年7月1日から31日までの間、施設の窓口でアンケート用紙を配布し、88人から回答をいただきました。質問項目としては、利用者の居住、利用頻度、スタッフの対応、施設の満足度などとなっております、「②調査結果」についてですが、ア居住については、中央区が60.7%と最も多く、地元の方に多く利用されております。イの頻度につきましては、4月から、7月までの3か月間に11回以上利用されている方が51.1%となっております。ウスタッフの対応については、「とても良い」が70.5%、「まあ良い」が29.5%となっており、多くの方に満足いただいております。エの施設の満足度につきましては、全ての方が今後も利用したいという結果となっております。

また「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」につきましては、テニスコートを、砂入り人工芝コートに変えてもらいたいとの要望がございましたが、本施設を再整備する際の検討項目といたしまして、ご報告したいと思います。また、近隣店舗のお客さんが駐車場に車を停めて、利用者の駐車ができないときがある、こういったご意見にたいしましては、監視を強化する対応を行ったところでございます。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、25年度分は0件でございます。

「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も「良好」となっております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしました。理由としては、利用者は減少しておりますが、原因は積雪や台風であることや、利用者からの要望に対しては適切に対応し、利用環境の改善に努めていることなど、維持管理及び運営については、概ね事業計画どおり管理運営が行われたことを上げております。

3ページ目をご覧ください。「履行状況の確認」ですが、概ね管理運営が事業計画どおりを実施されているため、評価は2としております。したがって、全ての項目の評価の平均は2.0点となります。

以上で、説明を終わります。

○部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスク等を把握するという観点から、指定管理者の財務状況に関して、意見交換を行いたいと思います。

先ほどと同様に、これからの会議は非公開といたしますので、恐れ入りますが、傍聴人の方は退室をお願いします。

(傍聴人 退室)

○部会長 それでは、よろしいでしょうか。はい、お願いします。

○部会長 委員の皆様からご意見いただきましたが、財務状況についての意見としては、やはりこれも、この計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、財務状況は概ね良好であり、ただちに倒産、撤退等のリスクはないと判断されますということによろしいでしょうか。

(なし)

○部会長 ありがとうございました。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については公開いたしますので、傍聴人の方をご案内ください。

(傍聴人 入室)

○部会長　それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見ございますでしょうか。

○委員　これも、25年度も結構、稼働率が大分下がってきてるから、この辺、減ってる関係でも随分、割合くるんじゃないかなと。先ほど雪とかの自然災害でのが、多いんじゃないかなと思うんですけども、それにしてもちょっと減り過ぎたかなという気がします。

○委員　それに関連して。さっきの大宮にせよ、宮崎にせよ、他のスポーツ施設に関しても、だんだん利用者が減っているんですね。これは少子化の影響なのかもしれないんですけども、本当にこれだけの広い施設が必要なのかどうか、あるいは何か別に提案をしてもいいような運動施設があるのではないかと、そういうことをちょっと市の方に全体的な検討をしていただくことが必要になるんじゃないでしょうか。

○部会長　ご意見ですか、ご質問ですか。

○委員　意見です。

○部会長　将来的な話ということで伺います。委員のご意見としては、やはり利用率の向上に努められたいという、そう捉えてよろしいでしょうか。

○委員　はい。

○部会長　ちなみに、その積雪の影響ということで4日間ということですけど、365日の4日間ということであれば、さっきちょっと計算したら2～3%なんですよね。そこばかりの要因だけではなく、それ以上の落ち込みがあるわけですから、まず他の要因があると考えられますので、何らかの利用率向上の対策をしていただきたいということで。

○委員　積雪の影響が、降った日からあとしばらく残るので、直接降ったその日の日数ではないと思うのですが、そこも、その後の整備というか、復活できるまでの工夫が必要ではあるかなというふうには思います。

先ほどと同じで、そこも含めて、冬場のアンケートなどもしていただきたいなというふうに思いますけども。

それから、ちょっと気になったのが、無断駐車云々というのがアンケートのところで意見が出てたんですけども、こういう具体的なことをここで言う話か分からないのですが、無断駐車の監視を強化したという風にあって、恐らく住民の方が関わって運営しているところで、監視してちょっといかんというふうになると、何かトラブルになりかねない感じもして、ちょっと心配だなと思ったのですが。特にここはリピーターがかなりたくさん利用しているので、他の施設とかを見ますと、この施設を利用してますというのを車に張り出して、施設利用者以外は駐車できないというのを、するだけでも多少効果があるのかなと。ちょっとこの場で意見することか分からないのですが、トラブルにならないといいなと思いました。

○部会長 どうでしょうか。

○委員 宮崎の施設を利用すると同時に張り紙を渡し車に張りださせ、こっちにまた戻って返してもらうとか、考えようによって。それは無断駐車防止になりまして、駐車のチェックはそれなりに対策を進めていく必要がある。そういうことですか。

○委員 要は、テニスをしに来た人が停められなかったということの苦情なのか意見なのかがあったということなので。

○委員 テニスコートを利用してちょっと他の、例えばランチをするとか、そういったものはいいということですね。

○委員 いいか悪いかを判断するのは施設だと思うのですが、現状それで停められなかった人がいるので、そういう無断駐車をしないように監視を強化したという運営をしたみたいを書いてあるのですが、そういうのでトラブルになったりする事例もあるので、直接、対面するよりは、正当に利用してますというものをちょっと表示するだけでも効果があるのかなというふうに、そんなことをしている例もあるので。

○部会長 管理する方に工夫してもらいたいと。

○委員 そうですね。

○部会長 すみません、参考までに、これ店舗って書いてありますけど、一方で改善報告書では公民館って書いてあるんですけど、実際、どんな感じなんですか。何かスーパーがあるんですか。

○スポーツ振興課 スーパーはないのですが、前に飲食店、ラーメン屋さんなんすけどもそういうものが何軒か並んでおります。比較的、駅にも近いということもありますし、そういったことです。

公民館は公民館で、利用敷地帯がありまして、公民館の駐車場は奥の方にあるのですが、その利用者が手前の方といいましょうか、そこで、それを公民館側にと注意をしていくというようなチェックをしております。

○部会長 公民館側の告知の仕方の方で、多少工夫の余地があるということで。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○部会長 他にご意見ございますでしょうか。先ほどとほとんど変わらないから。

(なし)

○部会長 委員の皆様から、様々な意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、または改善を要する点などの主な点につきましては、概ね良好な施設運営が行われると考えられるが、利用率の向上に努められたい。それと施設管理の工夫に努められたい。大雪後の除雪などに努められたいということで。そういうご意見がございました。これを本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市宮崎スポーツ広場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私ども事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

では、ここで5分間休憩をとりたいと思います。あの時計で、そうですね、10時25分までということですのでよろしいでしょうか。10時25分再開をお願いします。

(休憩)

○部会長　それでは、再開いたします。

千葉ポートアリーナについて、所管課からご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、千葉ポートアリーナについて、ご説明いたします。

資料6-1でございます。平成25年度指定管理者評価シートをご覧ください。

まず、「1 基本情報」ですが、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間を公益財団法人千葉市スポーツ振興財団が指定管理者として管理運営を行うものでございます。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧のとおりとなっております。

「(2) 利用状況」ですが、「①利用者数」は24万5,878人となっております、前年度比の82.3%となっております。稼働率は82.3%でございまして、前年度比0.8%上昇しております。

次に「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」につきましては、指定管理費委託料、利用料金、自主事業、その他の収入合計が2億4,467万1,000円となっております、計画額の99.1%となっております。

「②支出実績」ですが、人件費、事務費、管理費、自主事業、その他の合計が2億4,997万4,000円となっております、計画額の101.2%となっております。

支出の増加の主な理由といたしましては、電気料金の高騰及び利用者の要望により照明の使用を増やしたことによる光熱水費の増加による事務費の増加となっております。

「③収支実績」ですが530万3,000円の赤字となっております。

2ページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」について説明をいたします。

「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」、「①アンケート調査の実施内容」ですが、10月と3月の計2回行っております。10月に行ったアンケートでは、受託事業参加者を対象に実施いたしまして、54人から回答をいただいております。

3月に行ったアンケートでは、メインアリーナ及びサブアリーナの利用団体を対象に20団体の方からご回答をいただきました。質問項目は、利用施設、利用頻度、施設の利用のしやすさ、快適さ、スタッフの対応となっております。

「②調査の結果」についてですが、10月については、主にトレーニング室の利用者が対象となっております。「イ利用頻度」は、週1回から2回が35%、週2回が39%となっております。「ウ施設の快適さ」については、「とても良い」が25%、「まあ良い」が71%で、96%の利用者に満足をいただいております。「エスタッフの接客マナー」についても、「とても良い」が63%、「まあ良い」が35%で、98%の利用者の満足をいただい

ております。

次に、3月に行いましたアンケートについてですが、メインアリーナ及びサブアリーナの利用者を対象にしております。「イ利用種目」については、フットサル、バスケット、新体操などのスポーツ他マーチングバンド等となっております。利用頻度については、月に1回から2回程度が22%、週に1～2回程度が44%、年に数回が33%となっております。「ウ施設の快適さ」については、とても良いが37%、まあ良いが55%で、92%の利用者に満足をいただいております。「エスタッフの接客マナー」についても、「とても良い」が63%、「まあ良い」が35%で98%の利用者に満足いただいております。

「③アンケートにより得られた主な意見」につきましては、「新体操用マットの破損がひどく、いつ事故があってもおかしくない状態」というご意見に対しましては、本年度に1面分購入することを予定しております。また、「夏の空調がよければ」という意見に対しましては、利用者が空調設備を利用しない場合は、アリーナの入口の扉を開放いたしまして、エントランスホールの冷暖気を入れるような対応をしております。

次に「(2)市に寄せられた意見、苦情」ですが、2件の意見がございました。内容といたしましては、2件ともメインアリーナの冷暖房料金が高いとの意見でありました。対応といたしましては、ポートアリーナは大空間のため、冷房にかかる費用が高額になってしまうこと、同程度の他市総合体育館との比較の結果、現在の料金設定としていることを説明した上で、利用に当たっては断続運転を行うことで料金の節減ができるため、指定管理者と相談の上利用するとし、工夫をしてやっておりましたところでございます。

次に、3ページをご覧ください。「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も管理運営の基準や事業計画書への適合状況は、きわめて良好、または良好となっております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価はAといたしております。理由といたしましては、ポートアリーナの管理を22年間行ってきた実績・経験により、安定した管理運営を行ったこと、また、利用者アンケートの結果において、利用者満足度が90%を超えており良好な運営が行われていると認められることなどを挙げております。

次に、「履行状況の確認」ですが、概ね仕様、提案どおりに実施されており、全ての項目を2と評価いたしました。したがって、全ての項目の評価の平均としては、2.0点となっております。

ポートアリーナの説明は、以上でございます。

○部会長 ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退等のリスク等を把握するという観点から、指定管理者の財務状況に関しまして意見交換を行いたいと思います。なお、本施設の指定管理者である、公益財団法人千葉市スポーツ振興財団につきましては、計算書類等が全て公表されておりますので、そのまま公開で会議を進めます。

それでは、指定管理者の財務状況等に関しまして、計算書類等をもとに委員からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○委員 この施設は、今までの施設と違ひまして、金額の単位が割と違います。まず流動資産、これが3億1,057万、それから固定資産、基本財産ですね。定期預金が2,000万、投資有価証券が2億、この明細は、分からないんですけど千葉県も同じです。

それと、特定資産、これも固定資産なんですけれども、建物などの一般的な資産です。その他の資産についても、特に申し上げることはありません。全体像としては、資産合計が若干減っております。これは、まあ減価償却費がある関係だと推定しています。

それから次に負債の部にいきまして、未払金が前年度 8,000 万だったところ、かなりこれはキャッシュフローがよかったようでこれは 2,460 万。それから賞与引当金は増額というふうになっております。流動負債の合計が、5,200 万。半分ぐらいに近づいたので、いい傾向だと思います。

次に退職給付引当金、これは 2 億 1,100 万です。これは給料のベースが高いのか、ちょっとこれは。個人的な話し合いだと思うので何とも言えませんが、かなりそのところ、退職給付引当金としては大分低めです。税法上としては認められるものですから、独自に有税でやったということになります。指定正味財産の合計、これは資産から負債を引いたもので 2 億 6,800 万円あります。正味財産が 5 億 5,740 万あります。私がここで問題にしたいのは、投資有価証券です。これはリスク、リスクがある資産だと。それから退職給付引当金、これがちょっと偏りがあるんじゃないか。リスクといえばリスク。でも、これだけ正味財産もありますし、今年、多少減収であった、そういうことではありますが、全く、倒産、撤退の可能性はございません。

以上です。

○部会長　　ごめんなさい、経営部分のご説明が 35 ページ。

○委員　　貸借対照表があまりに大きな数字だったので、ついこちらの方を忘れました。

まず、事業活動収支の部、事業活動収入。基本財産運用収入、これは先ほどの投資有価証券の運用のものですかね、ほとんどは投資有価証券の運用益です。特定資産運用収入。あとは一般の事業収入ですね。受託事業収入、受託施設管理収入、指定管理事業収入、利用料金収入。あとは、ヨット関係の収入。で、補助事業収入が地方公共団体補助金収入と民間助成金収入。次に、負担金収入。これはヨットハーバーなどを使う時に利用する方からもらうそんなところですよ。

雑収入については、利息はゼロでいいと思うんです。その他の収入 299 万、これはちょっと明細がわかりません。

それから、今度は支出のほうにいきまして、事業費、スポーツ振興事業費、これは大会・イベントとかそういったところにかかる費用だと推定されます。ハーバー管理運営、これがそうですね。あとは管理費支出。役員費支出。これは役員の何人かによりますけれども、予算額が 1,300 万とあります。職員費支出。これは職員が結構いるから。事務管理費支出。これは事務費ですね。支出の合計が 5 億になっている。差額は 920 万 9,000 円となります。

投資活動収入、特定資産取崩収入、ゼロ。減価償却資産取崩収入。これは減価償却費を過大に計上したものを取り崩したと考えます。それから特定資産取得支出。これは退職給付引当金も有税ですから、取り崩したものと思われます。減価償却も同様です。投資活動支出。これは先ほどの退職金を取り崩した退職給付引当金資産取得支出。これは退職給付引当金につくやつと、退職金に充てるために運用しているということです。

投資活動収支差額がマイナス 900 万あります。当期収支差額が 15 万 9,000 円、前期繰越収支差額は 2 億 5,839 万 2,000 円です。次期繰越収支差額は 2 億 5,85

5万円、これだけの、繰越金があれば全く問題ないです。

貸借対照表のほうも損益計算書のほうも全く問題がありませんので、倒産、撤退のリスクについてはございません。

以上です。

○部会長 ありがとうございました。

ただいまの財務状況のご意見につきまして、委員の皆様から何かご質問等はございますか。

○委員 ちょっと一つだけ聞きたいんですが。

○委員 時間はありますから、ゆっくり。

○部会長 先に私から質問してよろしいですか。

先ほど、賞与引当金の話をされていましたが、この企業、役員2名で職員21名という記載がありますけど、そういう前提で見た場合、どうなんでしょう。

○委員 そうですね、役員のウエートがちょっと多過ぎるというような気がします。

○部会長 それは何か経営に問題は、影響があるかどうか。

○委員 経営に影響はありませんが。役員は1人いれば十分かと思います。

○部会長 法人の在り方としてのご意見ということ。

○委員 そうです。

○部会長 撤退等について特に問題はないということで。すみません。先に失礼しました。

○委員 すみません。23ページです。

○部会長 6-4の23ページですか。

○委員 そうでございます。すみません。6-4の23ページ。この正味財産の部と書いてあって、指定正味とか一般正味とか、例えば指定正味はどういうものを指定正味というとか、どういふのを一般正味というのでしょうか。

○委員 これは、各団体で、これは財団の定款で決められているものです。指定正味については絶対的に売ってはいけないもの。一般正味は理事会の決議でとれたりする費用になるんですね。

○委員 理事会で。

○委員 はい。

○委員 ありがとうございました。

○部会長 他によろしいでしょうか。

○委員 この22ページの投資有価証券に関しては、何か情報は入っていますか。

○部会長 6-4の22ページ。

○委員 そうです。

○部会長 これは内訳は33ページですかね、財産目録がありますけれども。

○委員 これに載っていますね。

○部会長 野村証券と書いてあるのが、そうでしょうかね。

○委員 そうですね、それ以上に、野村証券のどんな商品を。

○部会長 どんな商品を購入したんでしょうね。

○委員 そうですね。

○部会長　それは、何か市の方で把握をされておりますでしょうか。

○スポーツ振興課　申し訳ありません。把握しておりません。

○部会長　ということで。分からないと。

○スポーツ振興課　大まかに有価証券につきましては、主にまあ地方債ですとか、そういったものを運用している。中身について、詳細につきましてはこちらで把握しておりませんが、そういう状況でございます。

○部会長　一応、使用目的に満期保有目的でとか書いてあります。何かあんまり投資的なものをねらってということではないということになりますかね。

その他、質問はよろしいでしょうか。

(なし)

○部会長　委員の皆様からご意見をいただきましたが、財務状況につきまして、財務諸表等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、財務状況は概ね良好であり、特に問題はなく、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　ありがとうございました。

それでは、次に指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等につきまして、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見ございますでしょうか。

○委員　利用者アンケートのところで、10月、これは6-1の2ページ。54人と、ちょっとこれ少ないような気がするけど、どういう方法でアンケートをとられたかなと思って。

○部会長　質問の方法について、事務局で把握されているようであれば教えてください。

○スポーツ振興課　トレーニングルームとか諸室等の主に個人利用者を中心に、そういった方たちにアンケートを渡して記入をお願いしているんですが、大体の方がリピーターでなかなかアンケートに回答いただけないということを聞いております。

モニタリングをしている中でちょっとやり方を変えて意見を聞けるように工夫することを指導しております。

○部会長　回答率が悪いということが分かりました。ちょっと工夫をしてもらいたいなと。他にご質問、意見はございますでしょうか。

○委員　4月の7、8日で千葉大学の入学式が行われている。

○部会長　利用の実績でしょうかね。

○委員　実績ですね。

○部会長　6-3ですか。6-3の何ページでしょうかね。

○委員　3ページの上から、8行目。毎年これはやっているということでしょうかね。

○安藤スポーツ振興課長　実績はあります。

○部会長　他よろしいでしょうか。

すみません、ちょっと今のに関連して私から質問させていただきたいんですけども。資料でいいますと6-1ですね。1ページ目の「(2) 利用状況」、やはり82%と非常に

低く落ち込んでいる。今、委員からご指摘ありました6－3の資料ですけれども、ちょっとここで出ている数字も実績に基づくものとは違うんじゃないかなという疑問があります。

例えば、6－3の7ページなんですけれども。なんでしょうね協議会でしょうかね、6月5日のメインアリーナの天運相続特別1 Dayセミナー、5,500人。下のほう、28日、公明党の総会というのが1万2,000人という数字が出ていますけれども、1万2,000人が集まったらものすごい数だと思うんですけど、ちょっとこれ実数とはほど遠いんじゃないかなという気がするんです。1万2,000人集めるというのは、スタジアムクラスで、相当混雑してもそんなに入らないと思うんですけども。

そうだとするとこの利用人数自体もちょっといい加減じゃないのかなという印象を持ちました。これは実数に基づいた集計なのでしょうかということをお聞かせください。主催者報告でこうだったという、そういうことなんでしょうかね。

○安藤スポーツ振興課長 こちら主催者の報告でこの数字だということです。

○部会長 公明党ですね。

○安藤スポーツ振興課長 公明党の総会は、こちらの方は、ほぼ観客席は全部埋まっていて、下のフロアのほうも使ってという形でやりましたので、そんなにかけ離れた数字ではないと。

○部会長 1万2,000人ですか、ここは。

○安藤スポーツ振興課長 観客席で7,500でございます。下のフロアを使っております、そういったことから、数字は近い数であると思います。こちらのカウントはなかなかできないということがございますので、人数についてはこういった主催者からの報告をもとに記載しております。こういった資料につきましては、詳細な人数、情報等をとれるようなそういった工夫ができればと思います。

○部会長 そうだとすると、実際の利用者数というのはもうちょっと低いのではないかなというのが推測されて、そうすると利用状況ですから、もうちょっと落ち込んでいる可能性がある。だから、その点はやはりちょっと改善をしなければいけないという。

○委員 関連質問なんですが、真の家庭運動推進協議会というのはどんな協議会ですか。

○部会長 団体の属性についてということですね。

○委員 そうです。

○安藤スポーツ振興課長 こちらで把握はしておりません。

○部会長 特に反社会的でなければ、あまり立ち入っては利用に関して干渉するわけじゃないんですね。

○安藤スポーツ振興課長 利用に関しましては、基準がございますので、その基準の中で貸出につきましては行っております。

○委員 暴力団の介入がなければ大丈夫ということですか。

○安藤スポーツ振興課長 暴力団等そういった反社会的な勢力あるいは運営上支障があるような場合以外は貸出を行っております。

○委員 よろしいでしょうか。利用状況のところなのですが、稼働率は8割で、個人的にこんなものなのかなという感じはするんですが、24年度よりはちょっと上がっていますが、利用者数は結構減っている、ここはどういうことでしょうか。すみません、1ページです。

6－1の1ページです。すみません。

利用者数が減っていると、それはどういう状況かということをお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 24年度につきましては東京体育館のほうが使えない状況で、そちらで行われていた大きな世界大会というのがありましたが、その辺がポートアリーナで開催されました。そういった大きな大会があったので、1回の利用が多かったという現状がありまして、その辺で利用者数が、多くなったという状況です。

○委員 24年度がちょっと多かったということですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうです。24年度が。

○委員 先ほどの話もそうなんですけど、利用者数の把握が、イベントがあって、イベントに参加している分と、観に来たという分と随分違う利用者なので、この辺どういうふうに把握するかというのは、今後の課題かなという気がします。

現実的には主催者に報告を委ねるところだと思うんですけど、もしかしたらそこを違う枠組みで、工夫可能な範囲で、していくということも一つかなと。

○部会長 どうぞ、はい。

○委員 6－1の2ページ目の「利用者ニーズ・満足度等の把握」の下のところですね、「市に寄せられた意見、苦情」のところで出てきている意見ですが、意見ということで具体的に書かれているのは、2件あるうち一つなんですけど、同じ内容、同じ人からの意見ということでしょうか。ここに書かれている冷房料金ということで、冷房料金が低いというものがある中で、断続運転で料金を削減することもできるというようになっていますが、例えば、今スイッチ入れました、切りました、じゃあ料金はという形の運営になっているということなんですか。

○スポーツ振興課 そうですね。冷やして、その冷気で。

○委員 それは、料金がかかるのはオンにしている時間だけがかかるということですか。

○スポーツ振興課 そうです。

○委員 実際、私は利用者でもあるので、非常に暑くて、暑くなってくるとクーラーを入れたという状況は目にするんですが、実際的には暑くなってくると倒れちゃう人がいたりして安全面に関わりがあると思うんです。

その主催者の判断である程度、何度ぐらいになったらということでやっているような話は聞くんですけど、安全面に関わることで、市の方で、そこは方針みたいなものがあるんでしょうか。何か、若い子たちを我慢させるみたいな主催者もあるのかなとちょっと気になったのですが。

○安藤スポーツ振興課長 やはり大会を主催する団体がそういう意識を持って大会を運営していただきたいというのが、まずは第一義的にはあります。

冷房ももちろん高いというのがありますが、そういった安全面への配慮とやはりその大会を実施する主催者が第一義的には気を付けてやるということで考えております。

熱中症対策といった注意喚起につきましてはスポーツ施設に掲示する等していきたいと考えております。

○部会長 他にありますでしょうか。よろしいですか。

○委員 要望としては、その主催者に全面的に任せるだけではなくて、ある程度、安全面を配慮した指針的なものがあつたほうがいいのかという点もあります。指定管理者で。

主催者任せだけではいけないような気がします。

○部会長 指定管理者において安全等についても配慮していただきたいというふうに、そういうご意見でしょうか。

○委員 はい。

○部会長 他の方はよろしいでしょうか。

私から市に対して4点ほど質問があります。1点目に先ほど申し上げた、利用人数についてのこと、2点目としましてですね、利用促進のための広報活動についてのこと、3点目、自主事業についてのこと、4点目、施設・備品の維持管理についてのことなんですね。

1点目のこの利用者の減少について、市としてどう認識されているのかということですね。これは評価によると、そんなに何か問題視されていないようなんですけど、そうではないんじゃないかなという問題提起ですね。

2点目の事業促進のための広報活動ですけれども、資料で言うと、6-3の69ページ、広報・プロモーションの報告として、こんなことをしましたよというご意見なんですけれども、少し寂しいなというのが正直なところですよ。それに対して、市はどうお考えなのか。

3点目、自主事業に関してですけれども、これも資料で言うと、6-3の42ページ以降ですね。実際になされたということが書いてありますけど、それも若干寂しいかなという感じがいたします。これに対して、市がどうお考えなのかもご意見を伺いたいです。

あと4点目、「1 施設・備品の維持管理」というところです。これも資料で言うと、6-3の53ページのところです、特に54ページのところで、メインアリーナの施設とかで、大型の映像装置などの不備が幾つかあって、修理するとなると4億からのお金がかかる。そのメインアリーナの設備、その次に舞台機構の不具合も書かれているんですけど、これも修繕すると、1億3,600万、大きな施設ですので、それぐらいはやはり修繕費がかかってくるものなんですけれども、これは市としても危険度は中級程度という、緊急度も中程度ということ、問題意識は余り感じていない。どのように改善されていくのかということですよ。

56ページのメインアリーナの自動放水銃設備なんかは、多分使えなくなっていますよね。これはもう危険度は中どころか、火災等支障があれば、これは危険度大だと思うんですけれども、これも予算1億からの修繕費がかかっちゃうと、これが結構、多分、指定管理者としての限界があるかと思しますので、市がどのような修繕の計画をお持ちなのかというのと、あと指定管理者の評価は2というふうになっていますけど、そんなもんなんじゃないかな。それについてのご意見をお伺いしたいと思います。

細かいことをいろいろ申し上げるのは、やはりここ、ある程度、ポテンシャルがある施設だと思うので、使いようによっては、非常に活性化する可能性があるんじゃないかなと、そういう期待も込めて、いろいろ申し上げたいこともあります。

さっきのバドミントンの何か総体会会か、何か行事がこちらに来たとおっしゃっていましたが、これは継続しなかったんですね。その年限りということ。結構ここに誘致合戦みたいな、これからもっとがつつやってもいいんじゃないかなというふうに思いますので。先ほど申し上げた、ポテンシャルがある施設ですから、期待を込めて申し上げた次第です。ごめんなさい話が長くなってしまいましたけど、4点についてお伺いいたします。市はどのようにお考えなのかということをお聞きしたいと思います。

はい、お願いします。

○丸島生活文化スポーツ部長　大規模修繕のお尋ねでございますけども、これはメインアリーナの方はかなり大規模な億単位の修繕がたくさん控えております。これはやはり単発でどういう修繕をするようなことではなく、やはり市全体として修繕計画のバランスがありますので、優先事業を定めてやっていくことになると思います。

どうしてもスポーツ施設だけじゃなく、他の公共施設全てですね、それは市全体の事業の実施計画の中で優先順位を定めて、予算化をして、計画的に実施していくという形になります。

○部会長　すぐに改善の見込みはなさそうですかね。

○丸島生活文化スポーツ部長　大きなものは予算もかかりますので。

○部会長　市としては、いろんな事業があったと思います。

○丸島生活文化スポーツ部長　危険性のあるものから順次やっていくという考え方です。

○部会長　しばらくは、現状そのまま、何かだましだまし使い続けていくみたいな。

○丸島生活文化スポーツ部長　大きなものは、そういう形です。

○部会長　指定管理者としては、そういう状況の中で、与えられたもので、まあまあよくやっているなということですか。

○丸島生活文化スポーツ部長　そうです。その範囲内で少額の修繕は指定管理者の役目なんですけど、そういう考えでやっていただいておりますので評価としては2ということですよ。

○部会長　はい、分かりました。ありがとうございました。

はい、お願いします。

○安藤スポーツ振興課長　利用者の減少に対しての質問ですが、24年度は過去最高の利用者数で、これは東京体育館の修繕で流れてきたということがあったんですが、それだけのベースがあったという中において、昨年度、25年度ですね、利用者が減少したということについて私は残念であるなと思っています。

やはり利用を維持していくというのが大事な点であると思いますので、やはり広報活動、こういったところにもつながっていくんでしょうし、あとPRですね、団体単位の誘致、イベント構想ということとは、一体的に考えないと思っています。

その点はですね、公益財団法人千葉市スポーツ振興財団ですが、若干プロモーション活動が弱いことは否めないなと思っています。というのが大会の誘致に関しては自主事業でございます。

自主事業につきましても、これから多くやっていきたいというのもございまして、施設を利用させていただくものですから、他の大会ですとか、開催日の移動がある場合は自主事業ができない。まず自主事業の枠を設けて、あとは繰り出すというやり方ですので、あまり自主事業を多くしますと、逆に別の大会もございまして。後はもう事業の内容ですね、より知名度の高いもの、継続性の高いものを優先したいなど。こういったものを誘致していかなきゃいけないということで、我々としても今後検討していきたいと思っています。

以上です。

○部会長　ありがとうございます。

まさに私が申し上げたいことをおっしゃっていただけたのかなというように思っており

ます。

ですので、私としましては、やはり広報活動をもうちょっと積極的にということと、あと自主事業について、内容をもうちょっと魅力的なものをもう少しやっていただければなという、それは意見です。どうぞ。

○委員 この公益財団法人千葉市スポーツ振興財団、この決算内容を拝見しますと、かなり余裕がある決算をしているところなんです。あるいは、千葉市がもしできないんだったら、空調環境とか、それから修繕関係とか代わりにやっても十分会社の財務に合うというそういうふうな千葉市でやらないで、こちらのスポーツ財団でやってもらおうと、そういうことは依頼できないんですか。

○部会長 どうぞ。

○安藤スポーツ振興課長 これは指定管理業務、財団の営業部分になってくるんですが、こちらの昨年度、平成25年度ですか、4,000万、この財団のお金をかけまして、ヨットハーバー、こちらのほうをリニューアル、財団のお金で行った。本来は、市がやるべきものでございますが、財団法人のほうで資金を供与し、施設をリニューアルというのをやっております。

それと、本年度ですけども、先ほど申し上げましたように、体操用のマット、こちらの方は備品でございますので、本来的には市のほうで購入するということでございますが、財団の資金で購入していただくというようなことで話し合いが付いております。

そういった部分につきましては、まさに公益財団法人として期待するところは発揮できているのではないかと考えています。

以上です。

○委員 この千葉市スポーツ振興財団の指定期間の任期はいつまでですか。

○安藤スポーツ振興課長 指定期間は27年度末ということで、28年の3月31日までです。資料6-1の左上のページをご覧ください。

○委員 だけど、当分やるでしょうから。他に競争相手がいないから。

○安藤スポーツ振興課長 それは、我々の方では。

○部会長 先ほどの話で、今回残念ながら評価の対象ではないですけど、ヨットハーバーの方でそれなりに契約外のことをいろいろ工夫をいただいているという、そういうことですね。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○部会長 他にもご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○部会長 委員の皆様から様々なご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点など主な意見としましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられるが、利用者アンケートの回答に応ずるためのアンケートの仕方など、工夫改善と利用促進のためのさらなる広報活動に努められたい。2番目、利用状況、ニーズですね、把握を行うため検討の余地がある。3番目、利用者の意見に配慮した、施設管理について検討されたいと。4番目、魅力的な自主事業の実施に努められたいというような意見がございました。

これらを本部会の意見とすることで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　それでは、先ほどの財務状況も含めて「千葉市ポートアリーナ」の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見を取りまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは、午前中最後ですかね、千葉市こてはし温水プールについて、所管課からご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、千葉市こてはし温水プールについてご説明をいたします。

資料7-1でございます。平成25年度指定管理者評価シートをご覧ください。

まず、「1 基本情報」ですが、指定管理者はシミズ・砂防コンソーシアムにつきまして、指定期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」はご覧のとおりとなっております。

「(2) 利用状況」につきましては、利用者数は30万6,648人で、平成24年度比で95.9%となっております。

「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」につきましては、指定管理委託料、利用料金、自主事業、その他の収入の合計が2億3,015万6,000円となっており、計画額の96.3%となっております。収入減少の主な理由といたしましては、利用者数の減少によるものでございます。

「②支出実績」ですが、人件費、事務費、管理費、自主事業の合計が、2億4,849万円となっております。計画額の104.2%となっています。支出増加の主な理由といたしましては、従業員を増員したことによる人件費が約471万円増ほか、当初計画していなかった修繕費がかさみまして増加となっております。

「③収支実績」といたしましては、1,833万4,000円の赤字となっております。次のページをご覧ください。

「(4) 指定管理者が行った処理の件数」や「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」の「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」の①でございます。アンケート調査の実施内容につきましては、11月から12月にかけて、アンケート用紙を48人に配布いたしまして、35人の回答をいただいたところです。

質問項目については、利用者の特性、スタッフの対応、利用案内のわかりやすさ、設備・器具の充実、電話対応、売店の商品の充実、施設の清潔さ、教室の充実等となっております。

す。

調査の結果といたしましては、利用者の特性については、ご覧のとおりでございます。

スタッフの対応につきましては、「満足」「やや満足」が91.5%となっております。利用案内のわかりやすさにつきましては、「満足」「やや満足」が85.7%で、設備・器具の充実については、「満足」「やや満足」で77.1%、電話対応については、「満足」「やや満足」が91.5%、売店の商品の充実につきましては、「満足」「やや満足」が74.3%、施設の清潔さにつきましては、「満足」「やや満足」で82.9%、教室の充実につきましては、「満足」「やや満足」で77.1%、サービス全般につきましては、「満足」「やや満足」で88.6%となっており、概ね全体的に高い評価を得ております。

③アンケートで得られました主な意見といたしましては、「水質が汚い」というふうなご意見をいただきました。これにつきましては、立入水質検査を実施いたしましたところでございます。特に異常はございませんでした。

また、「障害者手帳に代わる証明書を発行してほしい」というご意見をいただいて、これにつきましては、平成26年度から、希望者を対象に証明書を発行することにいたしました。

次に「(2)市に寄せられた意見、苦情」ですが、合計4件ございました。

「パンフレットの郵送を依頼したのに、ホームページを見るように言われた」という苦情に対しましては、パンフレットの郵送を含めた業務内容の確認及び接遇に関しまして、全職員を対象に周知徹底することを指導したところでございます。

また、「従業員の対応が悪い」、こういったものも3件ございましたが、接客時の対応は速やかに改善するよう指定管理者に指導したところでございます。なお、指定管理者は全職員を対象に接遇の研修を実施しております。

次に、3ページをご覧ください。

「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も、概ね計画書どおりであったとなっております。

次に、「市による評価」でございますけども、評価はAといたしております。理由としては、管理運営業務に関しまして、概ね管理運営の基準のとおり、事業計画書どおり実施されており、利用者数については、昨年度と比べ約1万3,000人の減少となったところでありました。利用者数減少の原因については、気象的な問題も要因の一つと捉え、他の原因についても、アンケートを充実させ、利用者から広く意見を収集するなどの方法により、調査を継続する予定としていることを挙げております。

収支実績につきましては、水道料金を約743万円削減しておりますが、施設の老朽化により修繕が多くて、計画に比べて支出が増加したほか、利用料金の収入が減少し、従業員追加による人件費の増加の影響があり、約1,834万円の赤字でございます。それにつきましては、今後、地下水の利用をし、水道料金の削減を継続するほか、人員配置を見直すことによりまして人件費の削減を行っております。

その他自主事業に関しまして、概ね管理運営の基準どおり、事業計画書どおり実施されておることから、このような評価をいたしました。

次に、「履行状況の確認」についてですが、概ね仕様、提案どおりに実施されており、ほとんどの項目は、2と評価しています。3と評価したものについて説明をいたします。

4 ページになりますが、一番下の段の「(4) 管理経費の縮減」のうち、支出見積もりの妥当性の小項目、「管理経費の縮減取組み」につきましては、指定管理者みずからが地下水利用及び水道費の削減に努めております。そこを評価いたしまして、3 としたところでございます。

全ての項目の評価の平均点は、2.0 点となっております。

以上でございます。

○部会長 はい、ありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスク等を把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関しまして、意見交換を行いたいと思います。

ここからは非公開となります。傍聴の方、出ていただいてよろしいでしょうかね。

(傍聴人 退室)

○部会長 じゃあ、すみません。指定管理者の財務状況に関しまして、計算書類をもとに委員からご意見をいただきたいと思います。

○部会長 そうしますと、このこてはし温水プールにつきまして、3 者の共同体ですけど、財務状況につきましては、それぞれ財務諸表等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、共同事業体各者の財務状況は、概ね良好であり、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などに関する意見交換につきましては、再び公開としますので、傍聴人の方、入ってもらってください。

(傍聴人 入室)

○部会長 それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善に要する点等につきまして、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見はないでしょうか。

どうぞ、委員。

○委員 そちらの指定期間は 27 年度までで終わりですか。

○安藤スポーツ振興課長 はい。27 年度まででございます。

○委員 それで、こてはしの場合は、あまり入札のときに大勢、手を挙げるような状態じゃないですか。

○部会長 ご質問ですか。

○委員 はい、そうでございます。

○部会長 前回の公募の実績については、何か把握をされているんですか。

○安藤スポーツ振興課長 すみません、すぐには分かりません。

○委員 いや、僕もあんまり入札者が少ないということを何か前に伺ったのでね。

○部会長 単純なご質問ということですね。

○委員 そうです。

○部会長 ご意見、他にございませんでしょうか。ご意見が出てこない、進まないの

で。委員、お願いします。

○委員 すみません。こてはしの見学は、去年ですね。

○委員 去年です。

○委員 去年でしたね。いろいろ人集めをやっているようでございましたけど、いろんな地元の野菜なんかを売ってたという、それは良いことですけど。今、思ったよりこの修繕がかかったというような、大きな修繕は何を行ったのでしょうかね。こてはしのプール。修繕費が思ったよりかかりましたということ、ここで受けていますけど。

○部会長 はい、じゃあ、お願いします。

○委員 合計1, 800万弱、今赤字となっておりますけど。

○スポーツ振興課 どこかの資料に書いているんですけども。

○委員 なるほど、じゃあ書いているんですね。

○スポーツ振興課 はい。7-1の3ページ、市による評価でも書いてありますけども。

○部会長 これ1回もらったんですよね、これ。

○スポーツ振興課 資料の方に書いてあります。

○委員 そうですか。

○スポーツ振興課 資料7-3の33ページです。こちらの方に、床のタイルの修繕、タイルの打診検査、189万、その他、あとろ過器の修繕、一応大きなものはそういったものなんですけど、こちらの施設につきましては、温水を使って、さらに塩素を使っておりますので、施設の老朽化がかなり早い状態です。細かいところの修繕につきましても多くなっており、積み上げたのが今回の金額となっておりますが緊急な対策として行ったものも多く、計画に対し約1, 000万円ほど多くなっております。

○部会長 ありがとうございます。

23ページにもですね、7-3の23ページで、修繕のことということで、じゃあ、温水プールが止まっていた、2月は完全クローズということですよ。よろしいですね。

○スポーツ振興課 はい、25年度につきましては、2月はプールのみ休止しています。

○部会長 結果的に丸々休みにするというので。12分の1、完全に12分の1。

○スポーツ振興課 はい。25年度につきましては、プール槽修理を行い、こちらの方は、市でやっております。

○部会長 すみません。関連質問なんですけれども、7-1ですね、その利用状況と、計画段階で、ある程度それを折り込んでいるんですか。2月とは言わず、いつでもいいんですけど、1回大規模な修繕を行うということを見込んで、例えば、収支の状況でですね、計画額というのは定めたんでしょうかね。

○スポーツ振興課 通常は2週間程度と見込んで収支を上げていますが、修繕の内容によって期間を延ばすということがありますので、1カ月丸々という期間については見込んでいません。

○部会長 当初と想定外になるということですか。

○スポーツ振興課 はい。

○部会長 分かりました。

○委員 実は、ここ相当評判が良かったですよ。私も一度見学しましたが、なかなかあいうところは無い気がするんですよ。

○部会長 これはアンケート結果にぜひ。

ご意見についてどうでしょう。

○委員 アンケートでは、古くて、怪我しちゃったとか、そういう指摘があるんですが、2月の修繕等でもう解決したという理解でいいんですか。

○部会長 利用アンケート。

○委員 例えば、そのアンケートで、7-1の2ページのユーザーアンケートのところでは、「②調査の結果」、設備・器具の充実は、「やや不満」「不満」を合わせると2割ぐらいとか。あと修繕とかがあったりするんですが、その辺は2月の大規模修繕によってもう解決済みと。

○スポーツ振興課 こちらがですね、アンケートの設備の器具の見直しというところがあり、細かい内容としましては、ドライヤーを設置して欲しい、プールのトイレを洋式にしてほしいとか、更衣室の滑り止めシートを張りかえて欲しいという内容だということですが、ドライヤーにつきましては、もう電気の容量等の関係もありまして、まだ対応できておりませんが、その他、修繕については、優先順位をつけてやっていきたいと思っております、全てが対応できるというものではありません。

○部会長 何かご意見が。

どうぞ。

○スポーツ振興課 前回の応募者数ということなのですが、3者でした。

○部会長 ということですので、はい、ちょっと質問なんですけれども、利用者数は、そんなに落ち込んでないのに、利用料金がかくと落ちているのは、何でなのでしょうかねという。

○スポーツ振興課 利用者数。プールだけで見ますと、4月末もかなり落ち込んで。

○部会長 内訳があれなんですね。プール以外の利用者とかあるから、払っている料金が違うというのがありますね。

○安藤スポーツ振興課長 ですので、1万3,000人とか1万2,000人の時も。その結果ですね、利用料金収入も減っていますので。

○部会長 でもこれは次年度は改善されるものだと思います。一過性の状況ということですが、来年は。

○安藤スポーツ振興課長 原因はちょっと不明な状態になっています。他のうちの市内のプールにつきましては、これほどの大きな落ち込みはありません。こてはし温水プールにつきましても、24年から大きく変更になったということはございませんので、その中で、かなりの落ち込みとなっているのが現状で、こちらにつきましては、アンケート、利用者の意見等を再度確認しまして、たくさんの意見を聞けるようにして、施設の改善等を行っていければと考えております。

○部会長 はい、どうぞ。

○委員 私が思うには、シルバーの増大と、それから子どもの問題じゃないかなと思うんですね。そうすると割引額の対象になるんですよ。全体の数が増えると、全体の収入が減ると、そんな考えがあるんですけど。

○部会長 ご意見ということで、よろしいですかね。

○委員 意見で。

○部会長　　すみません。私としまして、やはりこの今、同じような話になっちゃいますけれども、ちょっとやはり自主事業が余り意欲的ではないところがあるのかなというところが、7-3の14ページですけれども、もっと使いようがあると思います。

あと、やはり広報ですかね。7-3の43ページのところで、刊行物なんか等でもいろいろ掲載してもらっているようですけれども、もっともっと市民に対する周知の余地があるのかなという印象です。その点、改善の余地として提言したいと思っております。

○委員　　確かに知る人は知っているの、知らない人は、あんまり知らないですね。

○部会長　　ちょっと場所的にもね、なかなか距離があつて。

○委員　　ちょっと車がないと行きにくい所ですね。

○部会長　　結構シーズンが集中して。

○委員　　そうですね。シーズン。

○部会長　　結構落ち込むときは、落ち込むんですけれどね。8分の1ぐらいでしたらね。ばらつきが。そういう全天候型の施設ということであればですね、もうちょっと利用率の向上を図られてもいいんじゃないかなという気がします、案件です。

他に何かご意見ございますでしょうか。

1点すみません。確認なんですけれども、資料の確認をさせていただきますが、7-1ですね、先ほどお話がありました、4ページの「(4) 管理経費の縮減」のところ、「管理経費の縮減取組み」ということで、3の評価をされているところがありますけれども、これは、この、何ですかね、地下水の利用というのは、24年度の話ですね。そうすると、1期前の話なんですけれども、今回も継続的に評価すべきような話なんですかね。そうすると、来年もじゃあ評価すべきという、そういうことになるんですかね。

○スポーツ振興課　　導入が24年度なんですけれども、それを積極的に地下水を増やすことによって、管理経費が削減されるんですね、利益率がいいということで。

25年度につきましても、積極的に利用して、削減していくという点を評価して3とさせていただきます。

○部会長　　ああ、そうですか。来年も削減でいいやという可能性もあるという。

○スポーツ振興課　　より地下水を利用して削減できればという考えはあります。

○部会長　　わかりました。ありがとうございます。

さて、他にご意見ございますでしょうか。よろしいですかね。

(なし)

○部会長　　委員の皆様から、様々なご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などの主な意見としましては、概ね良好な施設管理、運営が行われていると考えられますが、引き続きアンケート等により、利用者の意向を施設運営に反映するようにしていただきたいと、意欲的な自主事業と、さらなる広報活動の実施をお願いしたい、そのような意見がございました。

これを本部会の意見とすることで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　　それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市こてはし温水プールの指定管理者が行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになります。詳細につきましては、私と事務局にて調整するというご承

認いただければと思います。

よろしいですね。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございました。

施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に反映していただきたいと思います。

お疲れさまでした。

それでは、ここでお昼休憩といたしますが、事務局の方で何かありましたらお願いします。

○佐久間市民総務課長補佐 午前中のご審議、どうもありがとうございました。

委員の皆様におかれましては、これから昼食をおとりいただく会場に職員がご案内申し上げますので、よろしくお願いいたします。

なお、この部屋につきましては、この後、１２時４５分まで施錠させていただきます。したがって、貴重品等はお持ちになった上で移動をお願いいたします。

会議の再開は、午後１時とさせていただきますので、５分前までに恐れ入りますが、ご着席をお願いいたします。

どうも午前中のご審議お疲れさまでございました。

(休憩)

○部会長 では、再開いたします。

午後から、委員さんが見えになりましたので、今日は全員出席、５名の出席ということになります。

初めに、千葉アイススケート場について、所管課からご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、千葉アイススケート場について、ご説明をいたします。

資料８－１でございます。平成２５年度指定管理者評価シートをご覧ください。

まず、「１ 基本情報」ですが、平成１７年１０月２３日から平成２６年３月３１日までの約８年半を、株式会社パティネレジャーが指定管理者として管理運営を行ったところでございます。

なお、平成２５年度に、平成２６年度以降の１０年間の指定管理者を公募し、平成２６年４月１日から平成３６年３月３１日までの指定管理を同指定管理者が行うこととなっております。

次に、「２ 管理運営の実績」ですが、「(１) 主な実施事業」はご覧のとおりとなっております。

「(２) 利用状況」についてですが、平成２５年度の利用者数、２２万３１１人となっております。前年度より９８．７％となっております。

「(３) 収支状況」でございますが、「①収入実績」が、利用料金、自主事業の収入合計２億４，０９５万１，０００円となっております。計画額の１０７．５％となっております。概ね事業計画どおり、収入実績となっております。利用料金収入につきましては、計画比１０８．３％、１，２１９万円の増となっております。「②支出実績」ですが、人件費、事務費、管理費、自主事業の合計が２億１，５３４万円となっております。計画額の１００．９％

となっております。概ね計画どおりでございます。「③収支実績」でございますけれども、2,561万1,000円の黒字となっております。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」については、ご覧のとおりでございます。

次のページをご覧ください。「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」の「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。「①アンケート調査の実施内容」でございますけれども、アンケート用紙を8月1日から8月31日までの間、配布いたしまして、来場者数が258人でございます。質問項目は、「開館・閉館時間」、「利用料金」、「館内の清潔さ」、「スタッフの対応」、「レストラン」、「総合的な満足度」について調査を行っております。「その他」といたしまして、8月のアンケートとは別に、受付に意見箱を常設しております。年間を通して利用者の意見の収集を行っております。

「②調査の結果」ですが、「ア 回答者の属性」の「利用頻度」につきましましては、定期的な利用者が70%となっております。リピーターが多いという状況になっております。

「ウ 利用料金」では、35.4%、「カ レストラン」では40.0%の方が、「やや不満」または「非常に不満」であるという結果が出ております。しかしながら、「キ 総合的な満足度」では78.3%の方が、「非常に満足」または「概ね満足」というような結果となっております。

次に、「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」としてですが、スケートリンクの利用料金が低いという意見が多く寄せられましたが、関東地区における他のスケートリンクの貸靴代を含む一般利用料金を調査した結果、本施設の方が300円から500円程度安いことが確認されています。また、指定管理者の提案によりまして、本施設の利用料金が条例で定める金額よりも大幅に減額されているほか、平成26年4月の消費税率改定時においても従来の価格を据え置きで維持している部分もありまして、本施設のスケートリンクの利用料金は適正であると考えております。また、「レストランに不満がある。」という部分につきましては、今後のより良いレストランのあり方を指定管理者と相談して参ります。

次のページをご覧ください。「市に寄せられた意見、苦情」ですが、Eメールや電話などで、3件の意見が寄せられています。「③主な意見、苦情とそれへの対応」ですが、手袋を着用していない利用者に着用を指示したところ、その態度に苦情が来たということでありまして。これにつきましては、指定管理者から全スタッフに言葉使いや態度について再度指導を行うとともに、販売用以外に貸出用の手袋を準備する対応を行っております。また、スケート補助具（ソリ）の貸し出しの順番をめぐって苦情が来た件につきましては、利用者に対する説明方法に不備がないよう、指定管理者が全スタッフに指導を行うとともに、混雑時には整理券を渡すような方式に変更をいたしております。

「4 指定管理者による自己評価」ですが、いずれの項目も管理運営の基準や事業計画書への適合状況は、良好となっております。

次に、「市による評価」ですが、評価をAとしております。理由ですが、総合的な満足度に関するアンケートで78%の方が満足していること、利用者数が仕様・事業計画を超える実績・成果が認められること、「利用料金の設定」、「利用料金の減免」、「利用料金の割引」、

「利用促進のための広報活動」、「利用料金収入」、「利用料金収支」について、仕様・事業計画を超える実績・成果が認められる点や、その他の管理運営については、概ね仕様・事業計画どおりの実績・成果となったこと、他の施設では、平成25年度から開始いたしました高齢者割引制度につきまして、従前から実施していたことなどを評価いたしました。

次に、「履行状況の確認」ですが、ほとんどの項目で2と評価していますので、3と評価した項目を中心に説明いたします。

4ページをご覧ください。まず、「(2) 市民サービスの向上」の3番目の「利用料金」の小項目、「利用料金の設定」でございますけども、評価を3としております。これは、施設利用者の駐車料金の無料化や、他のスポーツ施設に先駆けて高齢者の割引料金の設定を行い、継続していることを評価したものでございます。次に、小項目、「利用料金の減免」についてですが、評価を3としております。これは、障害者スポーツ競技団体への5割減免を実施しているのを評価したものでございます。次に、小項目、「利用料金の割引」についてですが、これも評価を3といたしております。これは、リピーター獲得のため、定期券・回数券を販売しているほか、新規利用者獲得のため、新聞を販売促進媒体への割引利用券の提供や、クーポンサイトを利用した販売を実施したことを評価したものでございます。次に、「(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力」の1番目の「利用促進の方策」の小項目、「利用促進のための広報活動」ですが、こちらも評価を3としております。これは、ホームページの運営やパンフレットの配布のほかに、最寄り駅から本施設まで運行しているバスに対しまして、施設PRのためのラッピング広告を実施・継続していることを、評価したものでございます。次に、「(4) 管理経費の縮減」の2番目の「収入見積りの妥当性」の小項目、「利用料金収入は計画通りか」についてですが、こちらも3としております。これは、利用料金収入が計画比108.3%、1,219万円増となったことを、評価したものでございます。

最後に、全ての項目の評価の平均点は、2.2点となっております。

アイススケート場の説明は、以上でございます。

○部会長 ありがとうございました。

(傍聴人 退出)

○部会長 それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスク等を把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関しまして、意見交換を行いたいと思います。

先ほどと同様、ここからは非公開といたしますが、傍聴人の方々は退出されましたね。

はい、では引き続き指定管理者の財務状況等に関しまして、計算書類等をもとに委員からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○部会長 特にご意見ありませんでしたけれども、財務状況につきましても、本部会としては、あくまで財務諸表等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、財務状況は良好であり、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということによろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、

また改善を要する点等に関する意見交換については再び公開といたしますので、傍聴人の方をご案内ください。

(傍聴人 入室)

○部会長 よろしいでしょうか。それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。先ほど申し上げましたように、委員からご意見が出ないと意見の集約ができない。

○委員 意見はあるんですけど、最後の方がいいかと。

○部会長 そうですか。じゃあ、委員は後回しということで。じゃあ、委員どうぞ。

○委員 利用料金の収入が上回って優良ということできているんですが、一方では参加者としては、不満があるということで。この3つの関係がなかなか難しい気がするんですけども。何%でしたっけ。三十何%位の人が、利用料金の不満ということではあるものの、一方、これは、このままでいいという、市の、感覚でよろしいのでしょうか。

○部会長 確認でしょうかね。これは委員から出たご意見で。はい、お願いします。

○安藤スポーツ振興課長 利用料金につきましては、不満という意見があるんですが、これは、リピーターの方が実は非常に多いと。お子さんが多いんですね。今回、アンケートにつきましても、回答者がですね、10代以下の回答者が52%というようなことで、アンケートをやっています。そういうお子様に対して、リピーターで、教室等で来てくださる方もいらっしゃると思いますので、そういった方については、若干高いというようなイメージがあらうかと存じます。しかしながら、周辺のスケートリンクの状況を考えますと、300円から500円程度安い状況でございますので、この金額で、まだ当分やろうということで、今後の対応については考えていないという状況でございます。

○部会長 受益者負担の法則は崩せないということで、具体的には。

○安藤スポーツ振興課長 受益者負担100%の施設ということでございまして、その中での運用、なおかつ今、指定管理者の収益も、ある程度安定させなければならないというところで、今後はこのままでいきたいというふうに思っています。

○部会長 他にご質問はございませんか。

○委員 意見を言っているのですか。

○部会長 はい、どうぞ。

○委員 不満があるけれども、それは仕方がないというところは分かるんですが、利用料金収入自体が上がっているから、そのままということでは、ちょっと利用者の声を見無視しているんじゃないかなという気がします。ただ、ある程度、収入は得なくてははいけませんし。なので、利用料金の細分化というのを図るなどして、利用料金をもう少し改善、工夫の余地があるんじゃないかなというふうに思います。

○部会長 まあ検討されたいということですね、可能かどうか。

○委員 はい、安くしろということだけではなく。

○部会長 条例に関しても、できるかできないかがあると思いますね。委員。

○委員 それに関連しまして。確かに他の施設と比べて、かなり安いということであれば、必ずしも高いとは言えないと思うところです。確かに細分化して料金を設定すること、まあそれもベターだとは思いますが。千葉市では、多分あそこしかないん

で、かなり人気があることは確かだと思います。そういう施設に関して、他の施設と比べて料金が低ければ、全く料金面では問題ないというふうに考えます。

○部会長　　よろしいでしょうか。

○委員　　はい。

○部会長　　工夫の余地はあろうかと、あとは、その料金の仕組について、多少ご理解いただけるような周知の活動をできればね。

○委員　　はい。

○部会長　　どういうふうに周知の仕組がなっているとか、そういうことをちょっと、やられたら。他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。

では、私からよろしいでしょうか。先ほど、若い方、お子さんも利用が多いという話がありましたけれども、実績を拝見ということで、8－3ですかね、43ページにありますけれども、聞きたいところは、小中学生がマイナス1,311人となっておりますよね。他の、大人、一般の方は増えているんですかね。それで全体的に増加ということですけど。ここ、何か突出して小中学生だとか、あるいは就学前児童ですかね、お子さんが減っているというのは、何か原因があるのでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長　　それは分析ができておりません。先ほどアンケートをとった相手方が10代以下の方ということで、全体では、そう言いましたが、おっしゃるとおりであります。

○委員　　私がこれで解釈できることには、受験競争なんですね。どんどん低年齢層化してきているので、こういうところに行くような時間がとれないと思います。これも一つの原因ではないかと思うんです。

○部会長　　はい。私の意見としましては、底辺層、支える底辺層をより、何か利用しやすさとか、あるいはそういう周知の活動ですかね、を、さらに徹底していただきたい。利用促進について、さらに取り組んでいただきたいと申し上げたいと思います。

あと、いくつかあるんですけれども、先ほどのアンケートのですね、8－1のアンケートで、終わりのところにレストランに不満というのがあって、その対応について、地域柄、そこしか食事できるところがないということで、次期指定管理期間より、今後よりレストランのあり方を相談していきたいと書かれておりますけれども、次期というのは当期の話ですよ。既に入っているわけですよ。何か改善とかあるんですか。参考までに申し上げますと、どこだったかな。じゃあ、そのレストランで何を出しているのかとか。8－2ですね、44ページの「提供する品目と販売価格」というふうに書いてありますけれども。カレー、ピラフ、パスタ、スナック、あとはドリンクとかケーキセット、アルコールなんかもあるようですけれども。確かに言われてみると、そこでしか食事がとれないとなると、若干物足りない気がしますけれども、今期、何か改善が見られたのであれば、教えてください。わかる範囲だけでいいですけれども。

○スポーツ振興課　　今期についても、まだ引き続き協議中で、新しい方策は今のところありません。

○部会長　　可能性はあるということでしょうかね。

○スポーツ振興課　　今も協議中で。

○部会長　　分かりました。これも指定管理者でやっているんですか、レストランの営業

というのは。

○スポーツ振興課　　そうですね。

○部会長　　さらに下請に出すことはできるんですかね、制度上。

○安藤スポーツ振興課長　　制度上は可能でございます。

○委員　　やっぱりね、指定管理者がやっちゃうと、他の店が入って来れない状態になっちゃうので、ちょっとその辺は、市役所のほうで調整したほうが。

○安藤スポーツ振興課長　　レストランというかスナックコーナーというか、こういうような状況になってしまっているということで、アンケートにも書かれてしまっている。ファミレスの品揃えとは申しませんが、ある程度、おいしいもの、品質のあるものですね、ご満足いただけるような形で提供できるように、運用は、指定管理者でやるかどうか、委託に出すのか、それも含めて協議中でございますので、何とか改善ができればなと思ってございます。

○部会長　　私の意見としましても、まさに引き続き、市と協議していただきたいなというふうに思います。

○委員　　ファミレスを1件、指定管理者以外のところから、そこまで誘導するような形をとれたら、競争原理が働きますので、活性化につながると思うんですね。

○部会長　　実際やるとすれば、他に入ってくるわけじゃなくて、指定管理者の下請ということではできないんですよね。

○委員　　そういうことじゃないですよ。

○安藤スポーツ振興課長　　そうですね、指定管理業務の提案をいただきまして、レストラン、スペースがありまして、どう活用するのかというような提案をいただいて、その指定管理者の提案でレストランを開くことに。

○部会長　　それは、下請の形になりますよね。

○安藤スポーツ振興課長　　はい。

○部会長　　他に市がどっかの業者と直接掛け合っということはない。

○安藤スポーツ振興課長　　直接にはできないんです。そことあわせての一体化的な指定管理を。

○部会長　　はい。はい、どうぞ委員。

○委員　　施設的には、これ以上のものができ得る施設なんでしょうか。

○委員　　そのレストラン。

○部会長　　厨房設備ということですよ。

○委員　　はい。これが限界ということなんでしょうか。

○安藤スポーツ振興課長　　ここもレストランという形での設計ではございません。多目的に使えるスペースという形での設計でございますので、やはり設備が十分とは言えない状況がありますので、これは、かなりクオリティの高いものにするとするならば、大幅な施設改修が必要になるという状況でございます。

○部会長　　なかなか難しいところなんですけど、頑張ってください。

他にご意見ございますでしょうか。委員いかがですか。

○委員　　今の、レストラン。本格的なレストランじゃないかなと思うんです。ただ、おなが空いて、軽くさっと食べるぐらいの軽いスペースで、レストランをやっているのか

なと思うんですけど。ただ、結局それではやっぱり食べた人は、お金払うから、やっぱりちょっと不満が出てくるんじゃないかなと。これもうちょっときれいにしろとか、もうちょっと料理、いいのを出してくださいみたいなのを、そういう不満も絶対出ると思うんです。だから、そういう施設じゃなくて、これはちょっとして、小腹がすいたね、ちょっと食べたいって気持ちで、それくらい簡単に便利で出してくれているんじゃないかなと、私は解釈してるんです。以上です。そういうことだと思うんですけど、私は。だから、不満が出るのは、しょうがないなと。

○部会長 はい、分かりました。委員、いかがでしょうか。

○委員 特にありません。

○部会長 私の方からもう１点だけ市に確認をしたいんですけど、これ、いずれも収支で利益が出ていますけれども、利益還元という意味では、特に触れられていませんけれどもないんですかね。

○スポーツ振興課長 平成２５年度までの指定期間につきましては、利益の還元をうたっておりませんでしたので。

○部会長 これは前の契約ということなんですね。

○安藤スポーツ振興課長 はい。今回、２，５６０万、これは指定管理者の収入になると。昨年度、次期、今年度４月からの指定管理者による管理に当たりまして、その際には利益も、収入の１０％を越える利益が出た場合には、１０％、それを越えた分の５分の１を市に還元というようなことで契約をしております。

○部会長 実額よりも、何か気持ちの面である程度還元というか、示していただければと思います。他にご意見等ございますでしょうか。どうぞ。

○委員 これは次期以降の問題なんですけども。株式会社パティネレジャー、東京都豊島区ですね。確かにこういうアイススケート場を管理する業者というのは限られていると思うんです。千葉県にあれば一番いいんですけど。少なくともパティネレジャー以外に、東京にですね、こういう施設管理のできる会社が一応、複数社来て、それで一度、ここで競争させて、我々の評価を受けるような形の会社を、市当局で、どうしても、あと一つ、三つとは言わないけど、もう一つぐらいは競合させて、一応。多分、こちらの審査を受けるような態勢にぜひ持ってきていただきたいと思います。

○部会長 行く行くは選定も携わるということで。手があがったところじゃないんですよ。もともとは、パティネさんとレジャーさんという別会社が。これ合併ですよ、一つになってしまったというそういう経緯ですよ。

どうぞ、はい。

○安藤スポーツ振興課長 業者、他にですね、富士急さんですとかございますし、あと数社、大手もございます。そういった業者に名乗りを上げていただいて、競争原理が働いて、利用サービスが向上できる。これが理想でございますので、次回また。

○委員 まだ、時間もあることですし。

○安藤スポーツ振興課長 確かにそういった形で、複数者の方に手を挙げていただければありがたい。そういった状況になるよう検討していきたいと思います。

○部会長 市から名乗りを上げてちょうだいみたいなことはするんですか。

○安藤スポーツ振興課長 そうですね、業界自体、少ないものですから、募集を出すと

一気に広がるなという形です。前回は、数者から照会なんか来てですね、内々に打診があったわけなんですけど、実際、指定管理に手を挙げたのは1者のみに終わったという状況でございました。

○委員 ついでに。こういった募集につきましては、熊谷市長が自ら乗り出してくれると一番いいですね。

○部会長 営業活動を含めて、市長に期待する。分かりました。ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。

(なし)

○部会長 ありがとうございます。

では、委員の皆様から、様々なご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等の主な意見としましては、概ね良好な施設運営が行われていると考えられますが、アンケート結果を踏まえ、利用料金のさらなる工夫を検討されたい。利用料金の決して高額じゃないという設定の仕組みなど、周知を図られたい。利用者の満足度向上のため、レストランの営業等の工夫を指定管理者と市で相談しながら検討するよう努められたいという意見が出ておりました。これらを本部会の意見とすることで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて千葉アイススケート場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するという事で承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 では、施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それでは次に、千葉市民ゴルフ場について、所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、千葉市民ゴルフ場について、ご説明をいたします。

資料9-1をご覧ください。まず、「1 基本情報」ですが、指定管理者は千葉市民ゴルフ振興共同企業体が管理運営を行っております。指定管理期間は、本施設が供用開始となりました平成20年10月23日から平成30年3月31日までの9年半となっております。

次に、「2 管理運営の実績」ですが、「(1) 主な実施事業」につきましてはご覧のとおりとなっています。

「(2) 利用状況」でございますけども、「①利用者数」、平成25年度、2万3,462人となっております。平成24年度に比べまして、98.5%でございます。

「(3) 収支状況」ですが、「①収入実績」は1億1,577万円で、計画額の60.5%となっています。これはゴルフ業界全体の景気低迷、他ゴルフ場での低料金のサービスの実施、また、落雷や寒波などの影響で10日間の施設クローズをもたらしたことなど、天候不順により利用者数が目標値に届かなかったということでございます。「②支出実績」につきましては、リース料の契約見直し等による事務費の節減や、競技商品費の節減による自主事業経費の節減を図っております。

なお、指定管理者の選定時における提案によりまして、収入の10%を市へ納付することになっておりまして、994万6,000円を市のほうに納付した結果、収支実績は約1,627万円の赤字となっております。

次、2ページをご覧ください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」につきましては、ご覧のとおりでございます。

次、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」でございます。「①アンケート調査の実施内容」でございますけれども、アンケート用紙を来場者に配布をいたしました。1回目は1月の2日間、2回目は2月の4日間にわたって配布したところでございます。回答者数は200名でございまして、質問項目につきましては、コース、スタッフ、サービスの満足度、属性、利用の曜日、利用回数、ゴルフ歴、ゴルフ場、練習場の利用頻度、こういったことについて質問をいたしました。調査結果につきましては、「グリーン」、「フェアウェイ」といったコースにつきまして満足されている方が多く、90%以上の方から好評価をいただいております。スタッフの対応につきましては、対応、挨拶の仕方、身だしなみについて、高い満足度となっております。

アンケートにより得られました意見につきましては、喫煙エリアの創設を望む声ですとか、ジュニア料金の値下げなど、喫煙と料金に関する要望や意見が寄せられたところでございます。ゴルフ場内の喫煙問題につきましては反対意見も多くございまして、平成21年の4月からコース内全面禁煙を実施しておりまして、今後もこの対応についてのご理解を求めていくことにしています。また、高校生以下のジュニア料金につきましては、一般料金の50%オフとなっており、7月から9月まで実施いたします夏季特別料金の広報も含めまして、来場される皆さんに割安感を提示して参りたいと考えています。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」は4件でございました。「利用料金が新東京都民ゴルフ場等と比較しても高いので、料金設定を再検討して欲しい」との内容でございました。これにつきましては、良好なコース・コンディションを維持しながら、今後の料金改定時に収支バランスを考慮し、適切な利用料金の設定に努めて参りたいと思っています。また、「フロントスタッフの接客態度が無愛想なので改善を指示して欲しい」というご意見がございましたが、状況を確認いたしまして、対応について改善を行うことを指導してございます。

次に「4 指定管理者による自己評価」ですが、未経験者にゴルフを始めるきっかけを提供することを目的とした普及啓発事業を実施いたしまして、10月からは女子プロゴルフファーが担当するようになった他、月初めのお試しゴルフ体験会の受講者が同月にゴルフスクールを受講できるようにするなど、教室の工夫・充実を図ったものになります。また、利用満足度調査の結果では、スタッフ対応に関する評価は概ね高く、適切に管理業務を行っております。コースに関しては、基準以上にメンテナンスを実施しており、特にグリーンコンディションについては、近隣の18ホールのゴルフ場と比較しても遜色はなく、高い評価を受けています。利用状況や管理運営等のサービスにおける満足の向上のため、利用者満足度調査を実施し、要望の収集に努めるとともに業務の検証を行い、対応が必要な事案には順次対応していくことにしております。

次の4ページをご覧ください。「5 市による評価」でございしますが、評価はAといたしております。概ね事業計画どおりに管理運営が行われたこと、自主事業による新規利用

者獲得のための事業など、スポーツ振興への取り組みについて評価しております。ただし、利用料金収入につきましては、ゴルフ人口の低迷や、気象条件の関係によりまして利用者数が伸びず、計画どおりとなりませんでしたので、今後は利用者の視点に立ちまして、サービスをより向上させるほか、施設や事業の広報を積極的に行い、新規利用者の増加・拡大を図っていく必要があると思います。

次に、「履行状況の確認」ですが、概ね仕様、提案どおりに実施されており、ほとんどの項目は2と評価していますので、3と評価した項目についてご説明をします。

一番下段ですね、「(2) 市民サービスの向上」に関しまして、「利用料金の割引」のところでございます。これが評価3としてございます。これは、7～8月に夏季特別料金、9月に夏季特別料金の延長を実施し、2～3月には冬季特別料金を実施したほか、5回目のご利用で1,000円割引とする回数割引を、通年を通して実施した。こういったことを実施して3としております。

以上が評価をお伝えしたい部分でございます。

その結果、合計で平均しますと、評価は2.0点となっております。

説明は以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関しまして、意見交換を行いたいと思います。

(傍聴人 退室)

○部会長 先ほど同様、ここからは非公開といたします。傍聴の方は退室をされました。ですので、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに委員からご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

○部会長 はい。財務状況については、財務諸表等の資料に基づいた判断であることを前提としますが、共同事業体のうち1者は、直ちに事業継続が困難になるとは考えにくいものの、倒産、撤退等のリスクがないとは言えず、安定した事業継続のため、さらなる合理化、効率化に努め、各種方策を講じることにより、財務状況の健全化を図ることが必要だと考えますと。そういうことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、これを部会の意見としてよろしいですね。ありがとうございます。

それでは、次、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換につきましては、再び公開といたしますので、傍聴人の方をご案内ください。

(傍聴人 入室)

○部会長 よろしいでしょうか。それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点につきまして、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見ございますでしょうか。

○委員 約束だからだと思うんですけど、こういうふうにする、赤字が続いた場合、市

に10%となっているんだけど、それはやっぱり続けるんでしょう。約束だから、決まりだから、ずっとやるということ、やっぱり。

○部会長　市としてはやっていただくということですよ。どうぞお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　これは契約でございますので、これはやっていただく他はない。これは交渉した結果、ご提案によって申請されておりますので、その条件を無視することはできないということでございます。

○委員　合意解約もできないということですか。

○安藤スポーツ振興課長　合意解約。

○委員　市と京葉が同意して解約する。

○部会長　それは不可能じゃないでしょう。

○安藤スポーツ振興課長　市としては、当初の指定管理者選考にあたって、競争により、提案を受けて、今の指定管理者でやっていくと決めたことを踏まえたと、後の条件変更ですとか、運用の解約ということが公平性の担保に欠くことになるのではないかと、ということがございますので。そういった意味で、実は、そういった事案になった段階ですね、相談しながら、どういったことができるのか、検討させていただこうと思います。

○部会長　いろいろ、なかなか財務上も問題がないわけではないので、積極的なご意見をいただきたいと思いますが。委員、いかがですか。

○委員　いろいろあるんですけどね。合意解約ができないということであれば、次の選定ですね。次は30年ですか。

○部会長　そうですね。

○委員　利用者数につきましても、目標は25年度、3万3,000人強と一応うたってありまして、まだ1万人弱ぐらい少ないですよ、予定より。この時の管理者は、人を集めるためにどういう計画や広報をし、それを今も継続されているのですか。

○部会長　それは市に対してのご質問ということですかね。管理者の事業計画書に出ていると思います。

○委員　1万人ぐらい少ないから、何かそのままで、ただ目標だけで掲げてあるんだったら、ちょっと無駄かなと思っている。

○委員　そんな裏づけをする必要もないです、データは。

○委員　この指定管理者が、その他にもいろいろなことを、人を集めるために広報をやっているかどうか。

○委員　そうですね。京葉に限って言えば、何もやってないです。

○部会長　この計画策定に当たり、市と何か協議したことがあれば教えていただきたいと思いますが。

○スポーツ振興課　26年度からなんですけど、バスへ広告を出し始め、新規利用者を誘致することをやっていこうということで協議をしております。

25年度の目標値につきましては、提案時の数値が入っておりまして、実際の数字と差が激しくなってきたところで。前回、この場で他の施設の評価になるかと思いますが、目標値の見直しということでご意見をいただいているところがありますので。ゴルフ場に関しまして、26年度から実数に合った目標値を見直しています。平成26年度としましては、平日3%アップ、休日につきましては2%のアップということを見込んで合計2万5,

〇〇〇人弱の目標を掲げております。

○部会長 委員のご意見としては、あれですかね、現実の社会情勢を踏まえたもう少し目標設定をしていただきたいと。

○委員 そういう見方、高めに上げればいいでもないから。そうですね。

○部会長 それでは現状の施設で、何かこんな工夫されたらとか、そういうことでしょうか。

○委員 だから、もしかしたらショートコースを作ったらいいかもしれないですよ。だから、ミドルとかロングを作らない。そうすると金がかかるから。

○部会長 その大幅改善というのは、指定管理者はできないですよ。9ホールある前提でしか、できないですよ。

○丸島生活文化スポーツ部長 よろしいですか。

○部会長 お願いします。

○丸島生活文化スポーツ部長 今おっしゃったホールの大幅改善というのはなかなか難しい課題でございまして、近隣でももう少し拡張するスペースがあれば別ですが、それを現指定管理者に聞かないと、なかなか難しい話だと思います。今の指定管理者も、例えば真夏の暑い時に、夏季料金とかですね、格安な料金設定をすとか、あとは自主事業において、そういったゴルフスクールをやるとか、そういった集客に向けての工夫はしていますが、なかなか入場者増にまでつながっていないというのが現状でございまして。

○委員 今の現状では、指定管理者と全く、市民ゴルフ場の方で、タイアップがほとんどなされてないんですね。確か、場所は近くにあるということだけです。

○部会長 前回も委員おっしゃっていましたが、指定管理者そのものとの提携などを図って、利用率向上に努めていただきたいと、そういうご意見ですね。

○委員 はい。そうです。

○委員 質問なんですけれども、利用者数が目標値に対しては随分少ないですが、数としては横ばいですが、利用料金に関しては、すごく大幅に減っていて、それは割引など工夫したということで、それも理解はできるので、今後に期待できるというふうな感じが、自主事業も全部減っているというところが、なぜ自主事業がそんなに減ってしまっているのか。多分支出の少ない分、やっぱりやってないというふうに見えるんですが、どういう状況だったんでしょうか。

○部会長 計画段階では9-2の92ページですかね、書いてありますけど、あまり何も書かれていない。物販とレンタルという。

○委員 そうですね。中身とかを見てみますと、普及啓発事業でお試しゴルフとかで、自主事業で、興行事業で、と。ちょっとこの書き方がよくわからなかったもので。自主事業が少ないというのが、何故少なくなってしまったのか。

○安藤スポーツ振興課長 自主事業に関しましては、計画し、募集したものの、申し込みがないというようなものが多数ありまして、それで実施に至らなかったと、そういうようなものがございまして。それと参加者が減ってきているという状況がありまして。

○部会長 9-3の53ページあたりからですよ。そこを注目しておるんですけれども。

○委員 どこからが、どこまでが普及啓発事業になって、どこからが自主事業なのか、

ちょっと分からなかったんですが、今の53ページから。

○安藤スポーツ振興課長 53ページからのほうで、お試し体験会、ゼロ、ゼロというようなものがありまして。

○部会長 委員のご質問は、ですから、お試しコース体験が、いわゆる自主事業の枠の中の話じゃないんですかという。

○委員 これは自主事業に入っているんですか、お試しゴルフ体験会というのは。

○部会長 これは受託事業か何かなんですか。普及啓発というのは。

○委員 受託事業に入るだろうと、委託なのかなと思ったんですけど。

○スポーツ振興課 お試しゴルフ体験会というのは普及啓発事業に入ります。これ、ゴルフコンペとかも。

○安藤スポーツ振興課長 57ページに。

○委員 ここからだということで、ゴルフのことがメインとなるわけですが、やはりいずれにしても、参加人数ゼロという数字は気になりまして。これ、4月からだんだんといくつもの事業が並んでいるんですが、前半でもゼロというふうになっていて、同じように、年の後半でも同じような状況なので、これは途中の段階で、もうちょっと事業の内容であったり、広報であったり、そういうものを工夫することによって、もう少し下半期の参加者が増えるのではないかなと思いますので、その辺を、年間の最初の計画はわかりますが、修正していただければいいなというふうに思います。

○部会長 広報活動とかでしょうね。

○委員 はい。

○部会長 そういうことによって、もうちょっと。市政だよりとかに出てましたっけ。

○安藤スポーツ振興課長 市政だよりに掲載しております。

○部会長 私も何回かちらっと見たことがあって、私の勝手な想像では、もういっぱいになっちゃっているのかなと思っていたら、実績見ると、結構いつでも空きがあって、いつでも参加できるような状況なんですね。もうちょっと広報活動等努めていただきたいと思います。あと、自主事業をもうちょっと中身を工夫していただくとか、そういうことでしょかね。

○委員 はい。

○部会長 他にご意見よろしいでしょうか。何か。

○委員 いいです。

○部会長 委員の皆様から様々なご意見いただきましたが、施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また改善に要する点等について検討しましたが、利用者増加のための、さらなる広報等に努められたいと。自主事業のさらなる創意工夫等により利用効率、向上に努められたいという意見がございました。これらを本部会の意見とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市民ゴルフ場の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細につきましては、私と事務局にて調整するということでご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございました。施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分に反映していただきたいと思います。

それでは、ここで休憩をとりたいと思います。２５分でよろしいですか、大分押してますけれども。

○佐久間市民総務課長補佐 ちょっと中途半端なお時間ですけれども、あの時計で３３分ぐらいに。すみません。ちょっと時間が押しておりますので。申し訳ございません。

○部会長 じゃあ。

(休憩)

○部会長 それでは再開いたします。

次に、千葉市スポーツ施設について、所管課からご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、資料１０－１でございます。千葉市高洲市民プール他７施設というところでございます。指定管理者は、テルウェル東日本・スポーツクラブＮＡＳグループ。指定期間が、平成２３年４月１日から、２８年３月３１日までとなっております。

次に、「２ 管理運営の実績」についてですが、「(１) 主な実施事業」はご覧のとおりとなっております。

「(２) 利用状況」についてですが、利用者数につきましては、平成２５年度４０万６，９１９人になりまして、前年度比１０２％と増加しております。これは、冬期テニスコートの夕方の利用料金半額キャンペーンの実施や、海の日プール無料開放等の利用者サービスを行ったことと、積極的な広報・プロモーション活動を行ったことが要因として上げられます。また、稼働率につきましては６７．２％で、同様の理由によりまして０．４％上昇しております。

「(３) 収支状況」でございますが、「①収入実績」につきましては、「指定管理委託料」、「利用料金」、「自主事業」、「自販機補償金」などによりまして、３億５７５万円でございます。計画額に対して９９．７％となっております。「利用料金」につきましては、計画額の９５．２％になっておりますけれども、「自主事業」が計画額の１１３％と計画を大幅に上回りました。その理由につきましては、「利用料金」につきましては、当初目標を少々高く設定したことにあります。そして、「自主事業」につきましては、北谷津温水プールの水泳授業、これを増設した影響が出たものでございます。次に、「②支出実績」につきましては、「人件費」、「事務費」、「管理費」、「自主事業」、「利益還元」の合計が２億９，４３３万９，０００円となっております。計画額の９６．４％となっております。「管理費」が計画比８８．３％と大きく減少しておりますが、プールでの盗難多発時に警備員を配置できるよう予算を組んでおりましたが、今年はその必要性がなかったこと、従業員が自ら清掃を行うことで管理費の削減に努力した結果、計画比で約５６８万円の減となっております。

「③収支実績」でございますけれども、１，１４１万１，０００円の黒字となっております。

次のページにいきまして、「指定管理者が行った処分の件数」、「市への不服申立て」、「情報公開の状況」については、ご覧のとおりでございます。

「３ 利用者ニーズ・満足度の把握」についてですが、「(１) 指定管理者が行ったアン

ケート調査の結果」でございます。まず、実施内容といたしましては、平成25年6月15日から平成25年7月14日までにつきまして、施設にアンケートボックスを設置しまして、意見の収集を行いました。これに関する回答は907人でございます。質問項目は、「性別」、「年齢」、「住居」、「利用方法」、「利用頻度」、「利用種目」、「利用時間」、「予約方法」、「スタッフ対応」、「施設満足度」でございます。もう一度、25年7月20日から8月19日まで、プールの利用者に関しましてアンケートボックスを設置しまして、意見収集を行っております。回答者数は435人ございまして、項目につきましては、ご覧の14項目に関して質問を実施しております。3回目といたしましては、平成25年11月15日から12月14日まで、これもスポーツ施設のみで実施いたしまして、こちらはアンケートボックスを設置して、意見の収集を行ったところでございます。回答者は1,038人ございまして、質問の結果はご覧のとおりでございます。

調査の結果でございます。まず第1回目のアンケートにつきましては、60代以上の方が299人という形で、最大を占めております。利用の頻度につきましては、ほぼ毎日という方が27人、週に3～4回の利用は54人、週1～2回の利用は337人ということで、週1～2回程度が一番多いという状況です。利用時間につきましては、「ちょうど良い」が71%、「まあ良い」が20%で、91%の方が「良い」という評価をいただいております。予約の方法は、「とても良い」が26%、「まあ良い」が40%でございます。これは66%でございますが、予約システムを新たに導入しておりますので、若干分かりづらいという意見が出ております。スタッフの対応につきましては、「とても良い」が59%、「まあ良い」が37%でして、96%の方に満足をいただいております。施設の満足度につきましては、「とても良い」が40%、「まあ良い」が48%で、88%の方に満足をいただいている状況でございます。

プールの利用者に関しましては、20代以下の方が259人ということで、最多でございます。サービスの満足度でございますが、「とても良い」が39%ということでございます。ポイントカードを出しておりますが、これについても「とても良い」という評価、「良い」という評価で89%の方に満足いただいております。施設整備の満足度、こちらも「とても良い」が29%、「良い」が27%ございまして、「ふつう」というところが32%。この32%が「ふつう」という回答でございまして、一番最多でございます。こちらにつきましては、全プール、若干老朽化も進んでいまして、民間プールのような遊具等の設置がないということから、「ふつう」という評価をいただいたと考えております。スタッフの対応につきましては、「とても良い」が46%、「良い」が33%で、79%の方に「良い」という評価をいただいております。

3回目の調査につきましては、回答者の属性につきましては、60歳以上の方が355人、最多を占めてございます。利用頻度ですが、週1～2回の利用をされている方が337人ということで、こちらが最多でございます。利用時間については、「ちょうど良い」「良い」という評価が93%、予約方法が、「とても良い」「まあ良い」がこちらで64%。スタッフの対応につきましては、「とても良い」と「良い」で97%の方に満足をいただいております。施設の満足度、「とても良い」が31%、「まあ良い」が59%で、9割の方が満足いただいているという状況でございます。

続きまして、アンケートにより得られました主な意見といたしましては、6月の実施時

に、みつわ台体育館の照明が暗いというご意見がございました。対応としては、指定管理者へ修繕の時期と方法について協議中でございます。続きまして、北谷津温水プールにおきまして「シャワー室のカーテンが閉まりにくい。髪の毛が落ちていることが多い。」こういったご意見がございましたが、これはカーテンを取りかえるとともに、清掃の頻度を増やしたものでございます。続きまして、11月の実施時に、宮野木スポーツセンターで卓球エリアとバドミントンエリアの間に背の高いネットを設置してもらいたいと、こういったご意見があったわけですが、こちらにつきましては、両エリアを高く仕切れるネットを購入いたしまして、対応したところでございます。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」でございますけれども、こちらは3件ございました。1件目は、宮野木体育館におきまして「トレーニング機器の修理に時間がかかる。大会開催時に一般利用者に迷惑がかかる場合がある。」というご意見がございました。それに対しましては、修理期間の短縮に努めまして、大会開催時におきましては、主催者に対して利用マナーについて周知徹底、注意喚起をすることとしています。2つ目は、みつわ台体育館におきまして、バスケットボールコートが旧ルールのラインのままであったというご意見でございますが、これは改修工事を実施したところでございます。3つ目でございますが、「初心者のトレーニングルーム利用講座を復活させてもらいたい。」と、こういう意見がございまして、その対応としては、講座を開講できるスタッフを派遣いたしまして、定期的の開講できるようにしております。

次のページ、3ページをご覧ください。「4 指定管理者による自己評価」ですが、利用促進イベント等の重点的な実施や、お客様目線に立った改修・修繕・計画的なスタッフ教育、お客様の声を意識した施設運営などに取り組んだ結果、前年度比で約8,000人の増に貢献したと思われるものです。

次に、「5 市による評価」でございますけれども、評価はAといたしております。理由としては、夏季水泳プールの利用ポイントカードの導入や、冬季テニス料金、夕方の利用料半額キャンペーンなどを行うとともに、人気のあるグラウンドゴルフ大会の開催や、要望の多かったトレーニングルームの利用講座開催等、利用者の目線に立ったサービスを実施した結果、前年度に引き続き利用者が増加したこと。また、武道館の外壁塗装、古市場体育館の雨漏りの補修を行うなど、経年劣化している施設を積極的に修繕した点についても評価をいたしました。スポーツ施設利用者のアンケートを見ても、スタッフの対応と施設の満足度について、「良い」「とても良い」が、概ね9割に達しておりまして、良好な運営が行われていると認められることなどを挙げております、

次に、「履行状況の確認」ですが、概ね仕様、提案どおり実施されており、ほとんどの項目は2と評価しておりますので、3と評価した項目についてご説明いたします。

5ページになります。「(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力」のうち、「設備・備品の維持管理」の小項目、「建築物、建築設備、備品の保守管理」を3といたしております。これは、老朽化した施設の修繕を積極的に行ったことを評価したものでございます。

全ての項目の評価の平均といたしましては、2.0となっております。

千葉市高洲市民プール他7施設の説明は、以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスク等を把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思いま

す。先ほどと同様、ここからは非公開でございます。傍聴者の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、指定管理者の財務状況等に関しまして、計算書類等をもとに委員からご意見をいただきたいと思います。これはあと、11、12以降も共通するということですよ。

○安藤スポーツ振興課長 はい。

○部会長 では、財務状況の方の意見としましては、共同事業体各者の財務状況は良好であり、倒産、撤退等のリスクはないと判断されるということで、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換につきまして、再び公開いたしますので、傍聴人の方、ご案内ください。

(傍聴人 入室)

○部会長 それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何かご意見はございますでしょうか。

○委員 質問なんですけれども、アンケート調査に関して、対象が各プール、スポーツ施設とあって、施設8館でアンケート調査をしたというのでしょうか。

○スポーツ振興課 スポーツ施設の全施設です。

○委員 そうしましたら、いくつかのところについてはあったんですけれども、施設ごとの何か差みたいなのは、特にはなかったという理解でいいのでしょうか。

○スポーツ振興課 主な意見について、こちらの方に書かせていただいております、手元の資料のほうに、他にどういった意見があったのかという部分については把握しております。

○委員 施設ごとに、ここがいい、ここがいいみたいなところが、そんなに大きな差がなかったということで。

○スポーツ振興課 そうですね、はい。

○委員 この会社の選定は、私どもの時代であったのでしょうか。

○スポーツ振興課 22年のときに。

○委員 そのときは、スポーツ部会でなくて、市民局はなくて。

○スポーツ振興課 教育委員会です。

○委員 ああ、分かりました。どうも記憶がないんです。

○部会長 よろしいですか。1つ私から質問というか。これ利益還元、自主事業の利益を還元するということで、実際に実現できたということで、よろしいですよ。

○スポーツ振興課 はい。

○部会長 その辺、どのように評価されていますか。他のスポーツ施設が軒並み天井に風穴で、ここは利益還元を行っているわけですよ。例えば、評価シートでしょうか、5ページの「(4) 管理経費の縮減」のところで「収入の妥当性」ということなんですけれども、自主事業に関する項目が2となっていますけれども、これもっと評価すべきではないのかなという気がするんですね。

さらに言えば、資料を拝見している限り、非常に私は広報活動とか一生懸命やって、それなりに実績を上げているのではないかなという印象を受けました。というのは、ただ施設自体が、正直申し上げてあまり特徴のある施設ではないので、管理者として相当頑張らないとなかなか従前からの変化というのはもたらさないのかなと思うんですけれども。実際にこうやって収入が計画費を上回るものを上げているわけです。先ほど申し上げたように、何度も言いますが、利益還元が行われているわけですから、もっと積極的に評価すべきかなという気はしますが、どうでしょう、市としては。まあ、ご意見変わらずということであれば、それはそれでよいですけれども。

○安藤スポーツ振興課長　利益還元をしていただいております、これは指定管理者の努力の賜物であろうというふうに思っております。利用料金収入が上がっているから還元もできるということでもありますので、この辺はリアルにやはり新聞折り込み等のものを使ったりして、指定管理者自らの予算を使って広報活動を積極的に行ってきた。この結果で得ているものを考えられますので、そういった面では「利用促進の方策」というところで3という評価もあり得るのかなというふうにはあるんですが。我々の方では3までいくのかというようなところでございまして、2という評価をさせていただいております。これは委員さんからのお考えということで。

○部会長　分かりました。というのは、やっぱりある程度、頑張ったところは褒めてあげないと。さらに言えば、もともと指定管理者の制度の制度主旨自体が民間活力を導入して、施設運営の活性化を図るというところだと思うんですけれども、そういうところにあると思うんですけれども、これは比較的成功している例じゃないのかなという感じがしています。市の判断がどうであれ、私個人の意見としては、もうちょっと積極的に評価すべきというふうに考えています。委員、どうぞ。

○委員　指定管理者はですね、やっぱり千葉県とか千葉市、地元企業が一番かもしれないですけれども、こういった大企業が、メインがテルウェル東日本で、テルウェル東日本だとスポーツの活動がないので、スポーツクラブNASと手を組んだ方がいい。だからこういうふうな実績が出ているんだったら、そういうところでも必ずしも地元優先じゃなくてもいいのではないかなというように感じます。

私も、ここを3にすることに関しては合意します。

○部会長　積極的に評価していただきたいということですね。

ほかにご意見はございますでしょうか。

○委員　全般的に今のお二人と同意見です。利用料金で割引とかをしているにも関わらず実績が上がっているというのは、かなり工夫点とか、あるいは広報とかを評価していいのかなというふうに思っています。履行状況の確認の二転三転というところが、ちょっと枠組みが、先ほどのですと、例えば利用料金の割引とか書いて、ダイレクトにあったので、あそこで評価できたのにな、と思ったりして。そういうふうに考えると、設定は2から3にもできづらいなと。促進の方策、パンフレット、ポイントカードっていうことになると、じゃあ3までいかなんじゃないかなという市の思いも何となくわかるなという気がしたんですが、そうすると「収入の妥当性」、「利用料金収入は計画通りか」なのかなと。ちょっと悩ましいところではありますが、どこか2を3にできないかなというふうには思いました。

あと1つ、結構ここの、何というんでしょうか、コミュニケーションというか、そういう、会社が入っていることもあり、インターネットを通じて予約とか宣伝とか、いろいろしているかと思うんですが、そうなってくると、やっぱり利用者が偏るかなというのは、ちょっと心配したりもしたんですが、高齢者とかそういう人に対する割引をしたりする工夫をしているようですし、先ほどのアンケートも全部の施設にとって、いろんな人たちに声をかけている努力もしているみたいですので、ちょっとどこか、積極的な評価ができれば、というふうには思います。

○部会長　あくまでこれは市の評価ですから。

何か改善点とかございますか。委員、どうぞ。

○委員　10-3の21ページに「研修・訓練実施報告」というところがありまして、ここを見てもみると、かなりいろんな研修会等をして、スタッフの質の向上を上げているんだなというふうに思うんですが、恐らくこれは全部の、千葉市の関係でも35施設ですかね、そこ絡みでのこれだけということだと思うので、それぞれの施設の担当者が、例えば実際ここに何人の方を配備されているのかだとか、その辺がちょっと気になったりはしたので、たくさん集まるのは、実績はそうなんですけど、個々の施設の携わる人がきちんと受けられるように、工夫してくださいと最初から言うのも難しいんですが、ちょっと気になったところです。

○委員　テルウェル東日本株式会社とスポーツクラブNAS、このコンビは非常にいいと思います。やはり千葉市の温水プール、こてはしですね、あそこもこういった感じの内容では、もっとそこがフィットするんじゃないかと思って。次の時には、そういう可能性も検討された方がいいと思います。

○部会長　ありがとうございます。他に何かございますか。全く申し上げていないこと、何か改善点等がありましたら。特にないとなると、べた褒めの評価となりますが。

○委員　それで良いんじゃないんですか。

○部会長　よろしいですか。

(なし)

○部会長　では、今、委員の皆様方から様々なご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などの主な意見としましては、1、広報活動については大いに評価できると。2番目、営業の工夫や努力についても評価できると。3番目、今後も引き続き適切な運営をお願いしたいと。そういう意見がございました。これらを本委員会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　それでは、先ほどの財務状況も含めて千葉市スポーツ施設の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長　ありがとうございます。それでは、施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の適正管理運営に十分反映していただきたいと思います。

それではここで、5分間の休憩をとりたいと思います。ちょっと2、3分休む程度で。職員の入替えがあるようですので。

(休憩)

○部会長　　よろしいでしょうか。では再開いたします。事務局どうぞ。

○佐久間市民総務課長補佐　それでは、休憩時間中に市側の職員の入れかえを行いましたので、改めて職員をご紹介します。まず、千葉市都市公園施設を所管いたします公園管理課長の竹本でございます。

○竹本公園管理課長　　よろしく申し上げます。

○佐久間市民総務課長補佐　次に、千葉市花見川区花島コミュニティセンターを所管いたします花見川区地域振興課地域づくり支援室長の田野でございます。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長　よろしく申し上げます。

○佐久間市民総務課長補佐　ご審議よろしく願いいたします。

○部会長　　よろしく願いいたします。では、千葉市都市公園施設について、所管課からご説明をお願いします。

○竹本公園管理課長　　公園管理課長の竹本でございます。今日はよろしく申し上げます。

それでは資料の11をご覧ください。都市公園施設の指定管理者評価シートでございます。施設名ですが、千葉公園野球場ほか25施設で、指定管理者は先ほどと同じようにテルウェル東日本・スポーツクラブNASグループでございます。指定管理期間につきましては平成23年4月1日から28年3月31日まででございます。

続きまして、「2 管理運営の実績」でございます。「(1) 主な実施事業」、これにつきましてはご覧のとおりでございます。

続きまして、「(2) 利用状況」でございます。「①利用者数」、平成25年度52万8、056人。これは平成24年度の52万1,586人に比べまして101.2%となっております。「②稼働率」でございます。平成25年度67.3%。これは平成24年度の68.5%に対しまして、マイナス1.2%となっております。

続きまして、「(3) 収支状況」です。「①収入実績」ですが、「指定管理委託料」、「利用料金」、「自主事業」、「その他」を合わせまして合計が3億5,780万7,000円でございます。これは計画比で98.2%となっております。続きまして、「②支出実績」でございます。「人件費」、「事務費」、「管理費」、「自主事業」、「利益還元」、これらを合計いたしまして3億5,346万7,000円でございます。これは計画比で97%でございます。「③収支実績」でございますが、434万0,000円の黒字で、対計画額増減率がプラスで427万5,000円となっております。

ページをおめくりください。「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」は、ご覧のとおりでございます。

次に「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」でございますが、アンケートにつきましては先ほどのご説明と全く同じような形で採取しております。

3ページをご覧ください。「②調査の結果」でございます。まず夏の期間、6月15日から7月14日までに行いましたスポーツ施設での結果でございますが、利用時間でございますが、「ちょうど良い」「まあ良い」を合わせまして91%。それから予約方法ですが、「とても良い」「まあ良い」を合わせて81%。スタッフの対応ですが、「とても良い」「ま

あ良い」を合わせて97%。施設満足度ですが、「とても良い」「まあ良い」を合わせて87%となっております。次に、夏のプール利用者のアンケートでございますが、「サービス満足度」のところですが、「とても良い」「良い」を合わせて74%。ポイントカードでございますが、これは「とても良い」「良い」を合わせて89%。施設設備の満足度ですが、「とても良い」「良い」を合わせると56%ということで、これはちょっと施設の老朽化等の影響が出ていると考えられます。それからスタッフの対応でございますが、「とても良い」「良い」を合わせて79%。続きまして、冬に実施しましたアンケートの結果ですが、利用時間につきましては「ちょうど良い」「良い」を合わせて91%。予約方法、「とても良い」「まあ良い」を合わせて79%。スタッフの対応は「とてもよい」「まあよい」を合わせて94%。施設の満足度は「とても良い」「まあ良い」を合わせて83%となっておりまして、夏前に実施しました結果と概ね傾向は似ております。この中で両方共通するんですが、予約方法のところなんですが、「分からない」と答えられた方が夏10%、それから冬ですと9%と、かなりの数字に上っておるんですが、これは団体での利用以外で予約をとられた方以外の方あるいは個人でご利用、ふらっときてジムを利用している方等の回答によるのではないかと推測しております。

続きまして、「アンケートでいただいた主な意見、苦情等への対応」でございます。3つございます。

1つ目が「バスケットコートラインを新ルール用にしてほしい。」これは花島公園の体育館でございます。これは新ルール用に変更いたしました。それからプール期間中のものですが、「トイレのサンダルが健康サンダルで痛い」ということで、これはみつわ台第2公園でございます。これはやわらかいサンダルを用意いたしました。それから冬のアンケートで、「洋式トイレが欲しい。」という話でございまして、これは稲毛海浜公園庭球場のトイレで、指定管理者の方で対応いたしました。

続きまして、「市に寄せられた意見、苦情」でございます。市長への手紙が2件ございます。③のところをご覧ください。1つ目でございますが、「利用日の発表が遅い。」これは2カ月先の日程予約を可能にしてもらいたいという意見。それと「車椅子、担架があると便利」ということです。千葉公園でのものかと思いますが、2カ月先の予約を可能にしますと、その時点で2カ月先の予定が立っておられない方に多少不利益が発生する可能性がありますので、その辺は慎重に検討していきたいと思っています。それから車椅子、担架でございますが、車椅子につきましては、無い施設が多くございまして、担架については、設置はしてあるんですけども、職員に声をかけないと、すぐに出せない、自分たちで使えないという状況になっています。これに対しての改善は、基本的には車椅子を増やしていく方法で指定管理者と協議を進めていきたいと考えております。

それから市長への手紙、2つ目でございますが、「体育館スタッフや大会開催時間の問い合わせを電話で行ったところ、長時間待たされたあげく、わからないとの回答であった。」これにつきましては、伺ったところ、対応の不手際でございますが、実情としましては主催者からの詳細がまだ管理者のほうに流れてきていなくて、その状況を把握していなかった職員が、情報が流れているものと思って、それをいろいろ探した結果、お待たせしてしまったような動きになっております。これにつきましてはスタッフへの教育を徹底するように指導いたしました。

4 ページでございます。「指定管理者による自己評価」でございます。ここは読ませていただきますが、概ね先ほどと同じような自己評価となっております。「施設利用人数の増加、利用者に対して安心・安全・快適をモットーにサービス向上に努めました。①高齢者やひとり親世帯等に対する減免や、夏季水泳プールの利用ポイントカード、冬季庭球場の夕刻利用半額キャンペーン、海の日プールの無料開放等の利用者サービスを積極的に実施しました。②広報、プロモーション活動の一環として、市民の皆さんに広くスポーツに親しんでいただけるよう、千葉市に縁のある著名アスリートによるスポーツ教室を開催。また利用者の継続的な利用、新規利用者獲得のため、利用者に対話による利用促進を実施。そのほか、広報活動としてスポーツ情報誌 1 万部、オリジナル折り込みチラシ 6 8 万部、オリジナルポスター、サンプリング用うちわ等を作成いたしました。③施設維持管理では、施設スタッフによる日常点検や、施設維持管理エリアスタッフによる定期点検を強化、故障箇所の早期対応に努めました。主な修繕項目として、花島公園センター飛散防止フィルム張替え、千葉公園体育館の正面外壁補修、稲毛海浜公園庭球場のトイレ洋式化、各施設のトイレ、シャワー等、水回りの給排水設備修繕等を実施しました。④スタッフ研修、人材育成では、年間計画で接客、対応サービス研修、避難訓練、救急法等の安全研修を実施。⑤スタッフにより施設巡回の頻度を増やし、施設の安全確保、ご利用者に対して体調管理、怪我などの予防啓蒙のお声かけを実施しました。以上のような取り組みの結果、概ね事業計画どおりの実績・成果となり、管理運営に対して利用者からお褒めの言葉を数多くいただきました。利用人数も昨年度に引き続き、本年度も前年を上回る結果となりました。」

これに対しまして、「5 市による評価」。評価としましては A。仕様、提案どおりの実績・成果があったと考えてございます。「所見」ですが、「平成 2 5 年度は新たに夏季水泳プールの利用ポイントカードの導入や千葉公園プールでの水中パフォーマンスショーを行うとともに、例年に引き続きさまざまなアスリートによるスポーツ教室等を開催し、利用者サービスの向上に貢献した結果、前年度に引き続き利用者が増加した。また、利用者アンケートによる要望から、稲毛海浜公園庭球場トイレの洋式化を行うなど、利用者意見を積極的に取り入れ施設の改善に取り組んだことや、千葉公園体育館の外壁塗装、庇の防水塗装を行うなど、老朽化している施設を積極的に修繕した点は評価できる。今後も引き続き、管理運営の基準、事業計画書及び提案書に沿った適正な業務の遂行に努め、より利用者の満足度を向上させる取り組みを期待する。」

「履行状況の確認」でございます。「(1) 市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理」、こちらのほうは全て 2 でございます。それから、「(2) 市民サービスの向上」、こちらの方も 2 でございます。「(3) 施設の効用の発揮、施設管理能力」。「ポイントカード導入」につきましては、我々としては非常にいい成果をおさめたんじゃないかということで、3 という評価をしております。また、「自主事業の効果的な実施」の「教室・イベントの企画・誘致」ですが、これにつきましてもジェフレディースの選手によるサッカー教室ですとか、あるいは水中パフォーマンスショーを開催するなど、創意工夫が見られて、3 ということで評価いたしました。「(4) 管理経費の削減」につきましては、全て評価は 2 でございます。

合計で 4 4 ポイント、平均 2. 1 という評価をいたしました。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございました。

指定管理者の財務状況等に関してですが、先ほどのスポーツ施設と同じ指定管理者ですので省略させていただきます。

次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などについて、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様からご意見をいただきたいと思います。何かご意見はございますでしょうか。はい、委員。

○委員 千葉市役所もそうなんですけれども、洋式トイレ、プラスウォシュレットの時代なので、そういうことも考えられた方がいいと思うんですね。今後はやっぱりウォシュレットにした方がいいでしょう、トイレ。

○部会長 指定管理者に対してということですか。

○委員 指定管理者に。

○部会長 一応、すでに改善を図りましたので。

○委員 さらに何か、出来れば。

○竹本公園管理課長 対応が可能だとか等を含めて、また指定管理者と協議していきたいと考えております。

○部会長 他にご意見は。

○委員 もう1つ。やっぱり先ほどと同じなんですけれども、かなりいい管理をしていると。平均が2.1。これは、切り上げていいのではないですか。3にするとか。どうですか。

○部会長 市の評価は市の評価ですので。関連して私の意見を申し上げると、例えば市の評価のうち、「利用料金の減免」であるとか「パンフレット等の作成」、「建築物、建築設備、備品の保守管理」など、「自主事業収入は計画通りか」という項目を全て3にしてもいいんじゃないかなというふうに感じます。先ほどの施設と全く同様ですが、いろいろ積極的に指定管理者がやっていますので、先ほどと全く同じような評価をしていいのではないかなと。特に、先ほど申し上げましたが、やはりこういった施設でも利益還元を行っております。これも先ほど申し上げたようなことの繰り返しになってしまいましたが、工夫しづらい施設でありながらいろいろ効果を上げているというのは、指定管理者の創意工夫の賜物ではないかなというふうに思いますので。同じような評価をしてよいと思っております。他に意見ございますでしょうか。委員。

○委員 結局これ、さっきの管理者と同じ会社ですね。

○委員 そうです。

○委員 やっぱり、やり方も同じだと思うんです。

○委員 そうです。

○委員 だから、特にこの市に還元ということには、さっきの、ここ、7施設もやられているけど、他の施設もやられている。先ほど、利用料金が上がりました。だから多少、だからそれは2だということを言ったけど、どのぐらいの割合でアップされたか、わかったら教えていただきたいと思います。利用料金が前より上がりましたよね。今まで、去年から上がったんだっけ、利用料金。

○委員 消費税の関係で。

○委員 どのぐらいのアップになったか。どのぐらい管理業務をして、2にしてあった

のかなと。評価が。

○公園管理課 体育館につきましては全館使用とした場合4,390円が、午前9時から午後1時まで、4,390円が4,500円に上がっております。

○吉原市民総務課長 消費税率の引き上げに伴って、今年の4月から公共施設の利用料金を値上げしてありますけれども、これは昨年の評価ですので、これはそれ以前のものになります。

○部会長 上がっていないという前提で。

○吉原市民総務課長 はい。上がっていません、この時点では。

○委員 120円ぐらいということは、申し訳ございませんが、120円でこれだけの利益還元ができたということは、相当努力をされているなと思いますね。

○部会長 前提が違うんです。上がっていないんです。

○委員 上がっていないの。

○吉原市民総務課長 今年の4月からです。

○委員 ごめんなさい。そうすると利益の還元とか利用料金の計画というのは、これは3でいいんじゃないかなと思うんです。3の評価で、よくやったと。

○委員 それは私もそう思いますけど。

○吉原市民総務課長 先ほど委員さんからもお話がありましたけれども、この評価は市の評価でございますので、これはこのままとさせていただきますけれども、委員さんの意見としてはこの下に、選定評価委員会の意見という欄がございますので、そこにいい評価をしていただいたということで。

○委員 私のちょっと主観的な意見かもしれませんが、私どもが評価するのもそうなんですけど、市から評価していただくと、指定管理者としてもやりがいがあるじゃないかなという気がします。ですから、先ほど私が申し上げた各点について3をつけても別に問題ないんじゃないかなと。あとは市の英断ですよ。ご英断いただいて。3をつけちゃったよと。逆に、あと問題があるところはやはり1をつける、あるいは何かもっと下の評価がありましたよね、たしか。ゼロもつくんでしたっけ。

○委員 つかない。

○部会長 1が最低ですね。でも、やっぱりちゃんとつけておかないと、何でもいいということではないと思います。

○委員 何でもいいんじゃないですよ、確かに。

○部会長 これが、特に何か影響するわけではないので。

○委員 何でもいいんじゃない、もう評価にならないですよ。

○部会長 そういう意味で、市の方もぜひご検討いただきたいと思います。

他にご意見ありますでしょうか。委員。

○委員 せっかくなので、もっとよくするためにどんな要望を出したらいいかなと。

○部会長 改善点ですね。

○委員 考えたんですが、せっかくなので、皆さんの施設を1つのところで指定管理するので、そのメリットを最大限活かしていただくということ。今、情報とか申し込みとかも一括というか、そういう仕組みにはなっているようですけれども、例えばどんな種目とか教室とかをやるというところをここでやって、別のところで別の機会にやるとか、そうい

う何か事業のバランスを施設間で改善をして整えていくとか。ちょっとよくわかんないんですけど、ポイントカードとか共有にしてくとか。

○竹本公園管理課長 共有化はあります。

○委員 それは、すみません。知らなかったです。何かそういういろんな施設と一緒にやっているということのメリットを活かしていただければと思います。

○部会長 さらにということですよ。スケールメリットを活かしてということでしょうか。改善というか、期待を込めてということでしょうか。

○委員 はい。

○部会長 大体そんなところでしょうかね。先ほどと同じなので、よろしいでしょうか。

○委員 最後に、先ほども申し上げたんですけれども、プールに関しては随分利益を上げておりますので、東日本テルウェルとスポーツクラブNASに全部やってもらうような形をとったほうが利益還元もあるし、市にとってもプラスになるということがあります。

○部会長 次期の選定ですね。ありがとうございました。

話を戻しまして。それではさまざまなご意見をいただきましたが、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などの意見としましては、利益還元は評価できる。広報活動や自主事業等の実施についても評価できる。多くの施設を一括管理しているメリットをさらに活かしていただきたい。今後も引き続き積極的な運営を図られたい、などがございました。これらを部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、これらを踏まえて千葉市都市公園施設の指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございました。施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分に反映させていただきたいと思います。

それでは最後に、千葉市花見川区花島コミュニティセンターについて、所管課のほうから説明をお願いいたします。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 それでは、花島コミュニティセンターにつきまして、ご説明させていただきます。

資料12になります。平成25年度指定管理者評価シートをご覧ください。

まず1ページ目の「1 基本情報」ですが、指定管理者はテルウェル東日本・スポーツクラブNASグループ、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に「2 管理運営の実績」ですが、まず「(1) 主な実施事業」の「①指定管理事業」につきましては、ご覧のとおりでございます。施設の貸出し及び維持管理は適切に行われております。「②自主事業」につきましては、「ボディケアエクササイズ教室」、「心と身体に優しいヨガ」については通年開催し、「ベビーマッサージ教室」などにつきましては、定期的な自主事業も開催しております。

次に、「(2) 利用状況」につきましては、平成25年度の利用者数は7万2,431人

で、前年度比で109.8%となっております。稼働率につきましては30.0%で、昨年度と変わりはありませんでした。

次に、「(3) 収支状況」につきましては、利用料金収入決算額が計画額に対して100.8%となっております、収支実績決算額は288万6,000円となっております。

次に2ページ目、「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、これは施設の貸出しにおける許可ですが、ご覧のとおりでございます。

「(5) 市への不服申立て」、「(6) 情報公開の状況」はございませんでした。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度の把握」についてでございます。まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてですが、アンケート調査は、諸室利用者を中心に2回実施しております。調査の結果といたしましてはご覧のとおりでございます。括弧内の数値が1回目となっております、講座等につきましては「大変満足」「満足」が1回目は42.0%、2回目が32.8%、「不満足」「非常に不満足」が1回目3.9%、2回目が1.7%で、昨年度よりも良好であります。コミュニティセンターの自主事業につきましては、今後も利用者の方のご意見やアンケートを踏まえ、指導して参りたいと思っています。また、「③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応」ですが、コミュニティセンターにおいては平成25年11月から予約システムを導入しており、導入当初は「予約が分かりづらい」とか、「できない」といったような声がありましたが、窓口での丁寧な対応や、窓口での代理予約などによりまして、順調に運営できているものと考えられます。

次に3ページ目。「(2) 市に寄せられた意見、苦情」については、特にございませんでした。

次に、「4 指定管理者による自己評価」につきましては、自主事業を積極的に展開し、地域交流の活性化に努めたこと、またコミュニティまつりに関しては、地域住民や所属サークルと協力して開催しまして5,500名もの来場者数を獲得することができたことを自己評価としております。

次に、4ページ。「5 市による評価」ですが、評価は、3段階評価の真ん中でありますAといたしました。理由としましては、稼働率について昨年と変わらないこと。自主事業においては前年度比より増えているものの、まだ検討の余地があること。また、その他の管理運営につきましては事業計画どおり行われていることなどであります。

「履行状況の確認」につきましては、ご覧のとおりでございます。評価を3点とした項目は、5ページ中段にあります「自主事業実施の考え方」の「1 高齢者・障害者・乳幼児連れが参加しやすい事業」となります。これは、運動系事業を21回、文化系事業を21回実施しまして、親子で参加できる教室や高齢者向け、女性向けなど、誰もが参加できる事業を展開していることを評価しております。その他の項目においては、概ね、仕様、事業計画どおりの実績、成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたため、2点としております。

花島コミュニティセンターの説明につきましては、以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。まず、指定管理者の財務状況に関しましては、これも先ほどのスポーツ施設及び都市公園施設と同じ指定管理者ですので省略いたします。

次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を

要する点等について、指定管理者評価シートをもとに委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

○委員 質問でいいですか。

○部会長 どうぞ。

○委員 この利用状況は、自主事業ですね。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 はい。

○委員 これで計画額よりかなり利益を上げましたけれども、この施設での利益還元はないんですよね。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 利益還元はないです。利益の還元につきましてはゼロです。

○部会長 要件を満たさないということですよ。

○委員 いくらまで利益を上げたら自主事業は還元するんですか。

○花見川区地域振興課地域づくり支援室 今回は、実施回数自体を増やしているようなイメージになりますので、収入は多くなりますが、利益としてはゼロ、上がっていないような状況でございます。

○委員 そうですか。利益というのは、売上が上がったということですね。

○花見川区地域振興課地域づくり支援室 はい。今回は、収入実績も支出実績も額が増えているということです。

○委員 わかりました。

○部会長 ご意見ありますでしょうか。

○委員 確認なんですけど、稼働率30%というのはどうなんでしょう。妥当だという評価なんですか。もうちょっと上がるといいなと思うんですが。

○委員 どうでしょう、難しいですよ。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 いろんな見方があると思うのですが、花島コミュニティセンターの立地条件などいろいろ考えますと。

○部会長 立地が悪いということですか。

○委員 どう母数を捉えるかという問題が一つ。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 立地で非常に交通の便もよくない土地にありますので、皆様、車で利用が主に。

○部会長 市としては3割でもしようがないというようなこと。もちろん向上すればいいでしょうけれども、現状を踏まえたら。

○花見川区地域振興課地域づくり支援室長 原状の形ではよくしていると思います。

○委員 コミュニティセンターというと、例えばここも中央コミュニティセンターですよ、ここ。こういう利用方法と同じで、同じようなことでやっていると思うんですけど。花見川のコミュニティセンターには利用団体というのはいらっしゃるんでしょうかね。そうするとまた稼働が上がると思うんだけど。そういうのはどうなんですか。あそこで、例えばお花をやるとかダンスをやるとか、そういうクラブというんですか、利用団体ですか、そういうのはコミュニティセンターだから多分あると思うんですけど、そういうのを入れても30%しかいかない。よっぽど便利が悪いところなのか。

○委員 ここに関して直通バスを運営するなんていうことはお考えでしょうか。駅から。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 直通バスの考えは今のところないですね。コミュニティセンターを利用する方については無料券を配ります。

○部会長 タクシー代の方がかかるということなんでしょうね。

○花見川区地域振興課地域づくり支援室 公共バスが一応出ていることは出ているんです、最寄駅から。ただ、1 時間に 1 本、2 本ということなので、やはり不便であるのは間違いないと思います。

○部会長 一度拝見しないと分からないですね。また機会がありましたら一度。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 コミュニティセンター、またスポーツ施設とか、そういった環境の場所ですので、場所的にはやっぱりスポーツができるような環境です。それから、場所がたくさんとれる、公園施設ということもありますので。他のコミュニティセンターのように独立したところではありません。

○委員 千葉市じゃなくて管理業者がバスを出すということは考えられますか。指定管理者、管理業者が。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 そのようなところはまだ考えていないところです。

○委員 個人的には施設も分かっている。いいところじゃないと言われる言いにくいんですが、良い施設なのでもう少し使われるといいなというふうに思っているところです。それで、24 年度が 30%で、25 年度、目標の 30%でそのとおりっていうと、何となく前向きじゃないような気がしたので、30%は何か限界なのでしょうか。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 この辺の稼働率については偶然、同率になったようなものです。実際コミュニティセンターとしましては自主事業を、ここはスポーツ施設も関係していますので、体育館、運動系の自主事業は非常に効果があります。今年度、25 年度につきましては運動系だけでなく文化系の施設もかなり力を入れていまして、そういうところは、逆に評価できる場所ではないかと思っています。24 年度は 7 教室だったところを 25 年度は 21 教室の自主事業を行い、集客して不便な中にあっても、非常に努力しているところは見られます。

○部会長 もうちょっとポテンシャルがありそうですね。どうぞ。

○吉原市民総務課長 これは花島コミュニティセンターだけの話じゃなくて、コミュニティセンター全般の話なんですけれども、稼働率のお話なんですけれども。コミュニティセンターは朝 9 時から夜 9 時まで運営しておりまして、これを 2 時間ずつのコマで区切っております。この稼働率というのは、全てのコマに対して利用したか、しないかというところの率なんですけれども、コミュニティセンター全般に言えますことは、やはり夜間ですね。特に 7 時から 9 時のコマは利用率が非常に低いという状況でございます。特に花島コミュニティセンターは、先ほどから話題に出ました、地理的にそんなに交通アクセスのいいところじゃないですし、もともとの施設の性格がセンターの近所の方、地域の方にご利用していただくという、大体そういったニーズが高いところだと思います。ですので、そういった方は大体日中にお使いになるだろうと。自然と夜の利用は少なくなるから稼働率としては低くなるというふうになってくるんじゃないかなというふうに思われます。

○委員 駐車場のスペースなんていうのは利用者に限定されているんですか。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 駐車場は利用者のみです。

○委員 車で行くのはいいんですね。

○田野花見川区地域振興課地域づくり支援室長 はい。

○部会長 ご意見他にございますか。利用率の改善というのは、やはり今後の課題として残るでしょうかね。

○委員 そうですね。

○部会長 これで満足してはいけないということ。

○委員 もしかすると稼働率がそんなにないことが知られていなくて、利用しに行かないという場合もあるので、そういう方面の広報も可能性があるかなという気がします。

○委員 車で行けばいいところということは分かりました。

○委員 いいところです。

○部会長 ポテンシャルもあって。分かりました。よろしいでしょうか。

他の点に関しましてはどうでしょうかね。自主事業もやはり同一の指定管理者ですので、いろいろ創意工夫はあるんじゃないかなというふうに感じますけれども。どうぞ。

○委員 やっぱりテルウェル東日本とスポーツクラブNASのコンビというのは非常にいいですね。

○委員 アンケートで答えている方は高齢者が多いということで、実際の利用もそうなのかもしれないですけども、インターネットでの予約がわかりづらいといった声への対応を、やっぱり特に地域の人たちに来て欲しいということだと、その部分は、今後はインターネットにシフトしていくとしても、もう少し工夫していただけるといいのかなという気がしました。7月の調査と1月の調査と、あまり変わってないというか、満足の人が減っている感じですので、今後はちょっと丁寧にやられたほうがいいのかという気がします。

○部会長 利用者層の拡大というか、そういう話でしょうかね。

○委員 利用者層を考えると、受付、予約の方法についてもいろんな対応をして欲しいなと思います。

○委員 市の方が指定管理者に積極的に動けば、かなり彼らはいろんなノウハウとかを持っているので、いろんな改善策を出してくると思います。

○部会長 よろしいでしょうか。施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点などの主な意見といたしましては、立地条件の関係はあるものの、稼働率の向上のためのさらなる広報等の工夫を図られたい。アンケートの結果を踏まえ、利用者の意見を本施設運営に反映するように努められたいなどの意見がございました。

これらを本部会の意見とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 では、これらを踏まえて千葉市花見川区花島コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見とまとめていくということになりますが、詳細につきましては私と事務局にて調整するというご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。施設所管課におかれましては、委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

以上で議題１は終了いたしました。

最後に、議題２、その他ですが、事務局の方で何かありますか。

○吉原市民総務課長　今回の会議録の公開について、ご説明いたします。

今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。なお、ご確認いただきました会議録は、委員会のご意見を記載した指定管理者評価シートとともに９月を目途に市のホームページに掲載し、公表する予定でございます。

以上でございます。

○部会長　何かご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○部会長　皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了いたしました。ありがとうございました。

それでは事務局にお返しします。

○佐久間市民総務課長補佐　本日は長時間にわたりまして慎重なご審議、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、平成２６年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第１回スポーツ部会を閉会させていただきます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。